

ELSA グラフィックスボードマニュアル
Ver9.0

はじめに

本マニュアルに記載されている情報は細心の注意を以って編集してありますが、製品特性について保証するものではありません。
ELSA の販売と納品に関する範囲についてのみ責任を負うものとします。

本製品に付属する文章およびソフトウェアを複製、配布する場合、ならびにコンテンツを使用する場合は、エルザ ジャパン から書面による許可を受けなければなりません。

エルザジャパンは、技術開発の結果として、いかなる変更も行う権利を有しています。

本製品に関する全ての宣言および認証については、本製品の配布期間内にあって使用可能な場合に限り、本マニュアルの付録に記載されています。

商標

- Microsoft, Windows, DirectX は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft Windows Vista は Microsoft Corporation の商標です。
- OpenGL は Silicon Graphics, Inc. の登録商標です。
- GeForce, Forceware, NVIDIA Quadro は NVIDIA corporation の登録商標です。
- このマニュアルは予告なしに変更されることがあります。このマニュアル中の技術情報の間違いまたは遺漏については、一切責任を負いません。

本マニュアルは、グラフィックスボードドライバ Ver190.45 を使用して作成されています。

取り付ける前の注意事項



本製品に付属している保証書や購入時のレシート、領収書等は大切に保管してください
製品故障などで修理を行う場合に、保証書もしくは購入時のレシートを提示していただく必要がございます。



分解禁止

本製品の分解、改造、修理等をユーザー様自身で行わないでください
グラフィックボードのFANの交換、部品の改造、修理等の行為をお客様自身で行いますと、例え保証期間内でも修理保証対象外となります。



禁止

濡れた手で本製品の設置や取り外しを行わないでください
感電する可能性や部品の故障に繋がりますので、絶対にお止めください。



電源プラグを抜く

本製品を取り付けや取り外しを行う前に、必ずPCの電源プラグをコンセントから外してください
電源プラグが接続されたまま取り付けや取り外しを行うと、不意の電源投入などが起き感電や故障の原因になります。



禁止

パソコンの電源を落とした直後は、内部の部品に触れないでください
パソコン内部の部品は高温になる物が存在し、手を触れたりするとやけどをしたりするものがございます。10分程度冷却後に取り付けや取り外しを行ってください。



禁止

グラフィックスボードの部品や動作中のFANには触らないようにしてください
ボード上の部品は精密な部品で構成されていますので直接手で触れないようにお願いいたします。また、ボードが動作中にFANなどに手を触れると怪我をする可能性がございますのでお止めください。



強制

グラフィックスボードを取り付ける前に体内に蓄積された静電気を身近な金属部品やドアノブ等に逃がして接続を行ってください
特に冬場など体内に静電気が蓄積されやすいので、作業前に静電気を抜いてから取り付けを行ってください（静電防止手袋など使用するとベストです）。



強制

ボードを取り付ける際には、念のためハードディスク内の必要なデータをバックアップしてください
プログラムの組み合わせにより、Windowsが正常に動作しなくなる場合もございますのでバックアップは必ず行ってください。バックアップの作成を怠った為にデータを消失、破損した場合には弊社ではその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



禁止

本製品を落としたり強い衝撃を与えないでください
落下などによる部品の破損は修理保証対象外になりますのでご注意ください。



電源プラグを抜く

変な臭いや異常音の発生、煙が出るなどした場合、パソコンの電源を直ぐに切ってください
そのまま使用すると、ショートして火災を起したり、パソコン本体に深刻なダメージを与える可能性がございます。



禁止

本製品を使用する際に、以下の場所では使用しないでください
風呂場や水道の近く、結露しやすい場所、ほこりの多い場所、直射日光が当たる場所、常時振動が発生する場所



強制

以前に使用していたボードなどを取り外す際には、パソコン内のホコリも掃除して新しいボードを取り付けてください
ホコリなどが内部に付着したまま使用すると故障の原因となります。



強制

FANが取り付けられている製品は1ヶ月に1度程度、定期的にFANの清掃をおこなってください
FANにホコリが溜まりますと、FANの回転数が落ちたり故障したりする原因になります。

ELSA グラフィックスボードマニュアル

はじめに.....	2
取り付ける前の注意事項.....	3
第一章 Windows 7 の操作方法.....	7
1.1 画面設定の呼び出し方法.....	8
1.2 解像度や色数の変更.....	9
1.3 Windows Aero の動作方法.....	10
第二章 Windows Vista の操作方法.....	11
2. Windows Vista の基本操作方法.....	12
2.1 画面設定の呼び出し方法.....	12
2.2 画面解像度及びその他の設定方法.....	13
2.3 デスクトップテーマの変更 (Windows Aero の有効 / 無効の切り替え).....	14
2.4 画面解像度の変更.....	15
2.5 NVIDIA コントロールパネルの呼び出し方 (3D の設定及び画面の表示切替).....	16
2.6 Windows Vista での制限事項.....	19
第三章 Windows XP の操作方法.....	21
3.1 基本的な画面の操作について (解像度、色数変更など).....	22
3.2 NVIDIA コントロールパネルの呼び出し方法.....	23
第四章 サウンド出力の変更方法 (オーディオ出力対応製品のみ).....	25
4.1 Windows Vista/7 サウンド出力の変更方法.....	26
4.2 Windows XP サウンド出力の変更方法.....	27
第五章 NVIDIA コントロールパネルの操作方法.....	29
5.1 NVIDIA コントロールパネルでの操作方法.....	30
5.2 3D 設定.....	31
5.2.1 プレビューによるイメージ設定の調整.....	31
5.2.2 3D 設定の管理.....	32
5.2.2.1 グローバル設定.....	32
5.2.2.2 プログラム設定.....	33
5.2.3 PhysX の設定と SLI の設定.....	34
5.3 ビデオと TV 調整設定.....	35
5.3.1 ビデオ カラー設定の調整.....	36
5.3.1.1 スタンダード.....	36
5.3.1.2 RGB ガンマタブ.....	37
5.3.1.3 詳細設定.....	38
5.3.2 ビデオイメージ設定の調整.....	39
5.3.3 信号または HD フォーマットの変更.....	40

5.3.4	TVのカラー設定の調整.....	42
5.3.5	ビデオとTV調整設定.....	43
5.3.5.1	画面サイズと位置の調整.....	43
5.3.5.2	HDTV デスクトップのサイズ変更.....	44
5.4	表示.....	45
5.4.1	解像度の変更.....	46
5.4.2	デスクトップカラー設定の調整.....	47
5.4.3	デスクトップのサイズと位置の調整.....	48
5.4.3.1	CRT 画面の位置の移動.....	48
5.4.3.2	フラットパネルスケーリングの変更設定.....	49
5.4.4	ディスプレイの回転.....	50
5.4.5	HDCP ステータスを表示します。.....	51
5.4.6	複数のディスプレイの設定.....	52
5.4.6.1	Windows Vista/Windows 7 の場合.....	52
5.4.6.2	ディスプレイ設定の変更.....	53
5.4.6.3	画面モードの説明.....	55
5.4.6.4	デュアルディスプレイの設定方法 (DualView モード用の操作).....	57
5.5	ステレオスコピック 3D.....	58
5.6	エッジオーバーラップの調整.....	59
第六章 nView デスクトップマネージャの操作方法.....		61
6.1	nView メニューの起動と設定.....	62
6.2	プロフィール.....	64
6.3	ウインドウコントロール.....	65
6.4	アプリケーションタブ.....	66
6.5	デスクトップタブ.....	67
6.6	ユーザーインターフェイス.....	69
6.7	効果設定.....	72
6.8	拡大縮小設定.....	73
6.9	ホットキー設定.....	74
6.10	マウス設定.....	75
6.11	ツール設定.....	76
第七章 Quadro NVS マルチモニタ設定方法.....		77
7.1	NVIDIA Quadro NVS シリーズマルチ出力設定.....	78
7.2	Multiview モードの設定.....	79
7.3	Multiview モードの設定 (画面配置).....	80
第八章 トラブルシューティング.....		83
エルザサポートセンターについて.....		86

はじめに

このたびは、ELSA 製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

この ELSA グラフィックスボード ユーザーズマニュアルは、ELSA グラフィックスボードを利用するために必要な情報を提供します。

対応製品名

ELSA GLADIAC (エルザ グラディアック) シリーズ

NVIDIA Quadro FX (エヌビディア クアドロ エフエックス) シリーズ

NVIDIA Quadro NVS (エヌビディア クアドロ エヌブイエス) シリーズ

このユーザーズマニュアルは、お客様が ELSA 製品を使用しているときに、可能な限り最高のサポートを提供するために、さまざまな部門から集められたスタッフが編集したものです。

詳細情報については、インターネットの <http://www.elsa-jp.co.jp> をご覧ください。

ELSA グラフィックスボード ユーザーズマニュアルに関する質問や、テクニカルサポートを依頼したいときは、ELSA オンラインサービス (<http://www.elsa-jp.co.jp>) が 24 時間アクセス可能ですのでご利用ください。

このマニュアルの変更

ELSA 製品は、継続的に開発が続けられています。そのため、このマニュアルに記載されている情報は、お客様への予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

このマニュアルの内容や文章を株式会社エルザ ジャパンに許可なく、無断転載、無断掲載、複製を禁じます。

2009 ELSA Japan Inc.

第一章

Windows 7 の操作方法

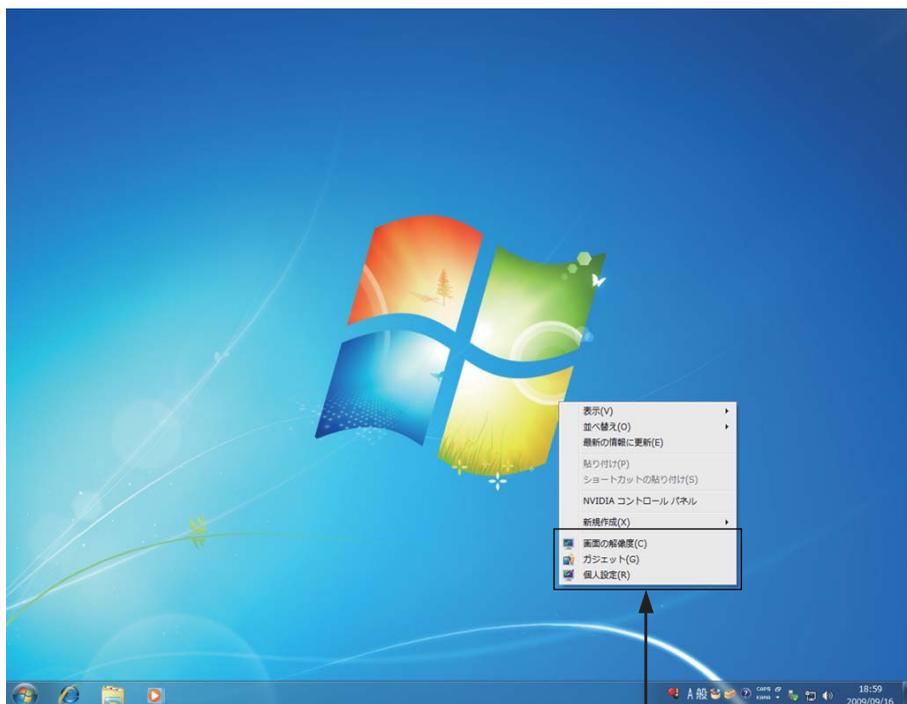
Windows 7 での操作方法

Windows 7 では従来の Windows 製品と比較して操作方法が大幅に変更されています。
従来グラフィックスカードで独自に行われていた設定内容が統合され、画面関連の設定が Windows で設定できるようになりました。

ゲーム向けの設定や画面の表示方法の変更などを行うには、別途 NVIDIA コントロールパネルで 3D グラフィックスの描画方式や画面の描画方法などを変更可能です。

ここでは基本的な解像度の操作方法をご紹介します。

1.1 画面設定の呼び出し方法



画面の説明は Windows 7 Professional を使用しています。

デスクトップ上で何も無い場所を
右クリックして画面の解像度 (C)
を選択してください。

1.2 解像度や色数の変更

画面の解像度や色数を変更する場合には、こちらを使用して設定が可能です。

The screenshot shows the 'Change Display Settings' dialog box in Windows 7. The window title is 'ディスプレイ表示の変更' (Change Display Settings). At the top, there are three numbered icons representing different displays: 1 (main), 2 (selected), and 3 (disabled). Below this, there are several settings:

- ディスプレイ (S):** 2. Cinema HD Display
- 解像度 (R):** 2560 x 1600
- 向き (O):** 横 (Horizontal)
- 複数のディスプレイ (M):** デスクトップをこのディスプレイに拡張する (Extend desktop to this display)

Additional text in the dialog includes: 'このディスプレイが現在メインディスプレイです。' (This display is currently the main display.), 'テキストやその他の項目の大きさの変更' (Change text and other item sizes), and 'どのディスプレイ設定を選択しますか?' (Which display setting do you want to choose?). Buttons for '検出 (C)' (Detect), '識別 (I)' (Identify), '詳細設定 (V)' (Advanced settings), 'OK', and 'キャンセル' (Cancel) are also visible.

Callout boxes provide the following explanations:

- モニタの識別 (I):** 接続されているモニタに番号をつけて表示します。(Identify (I): Displays the number of the monitor connected to the system.)
- 詳細設定 (V):** 画面カラーの表示モードやアダプタの詳細など表示、設定をします。(Advanced settings (V): Displays and sets details such as screen color display mode and adapter details.)
- ディスプレイ (S):** 設定するディスプレイを選択します。(Display (S): Select the display to set.)
- 解像度 (R):** お使いのディスプレイに最適な解像度を選択してください。(Resolution (R): Please select the resolution that is best for your display.)
- 向き (O):** 画面を左右 90 度及び 180 度回転することができます。(Orientation (O): You can rotate the screen 90 degrees and 180 degrees clockwise and counter-clockwise.)
- 複数のディスプレイ (M):** 複数のディスプレイを有効にしたい場合、プルダウンメニューで選択します。(Multiple displays (M): When you want to enable multiple displays, select from the pull-down menu.)

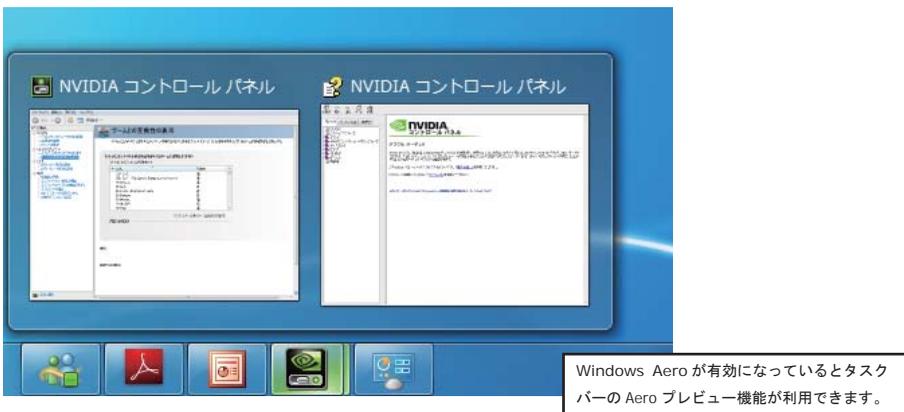
設定が完了しましたら、OK を押して設定を保存してください。



向き (O) や複数のディスプレイ (M) を利用した場合、NVIDIA コントロールパネルの機能が制限されたり、Windows Media Player の動画再生、地デジチューナーの再生に支障が出る場合があります。

1.3 Windows Aero の動作方法

Windows Aero の機能が動作していない場合、デスクトップを右クリックして個人設定を呼び出します。コンピュータの視覚効果と音を変更しますから、Aero テーマを選択することにより Windows Aero が動作します。



Aero プレビューにてタスクバー内のプログラムを表示した状態。

第二章

Windows Vista の操作方法

2. Windows Vista の基本操作方法

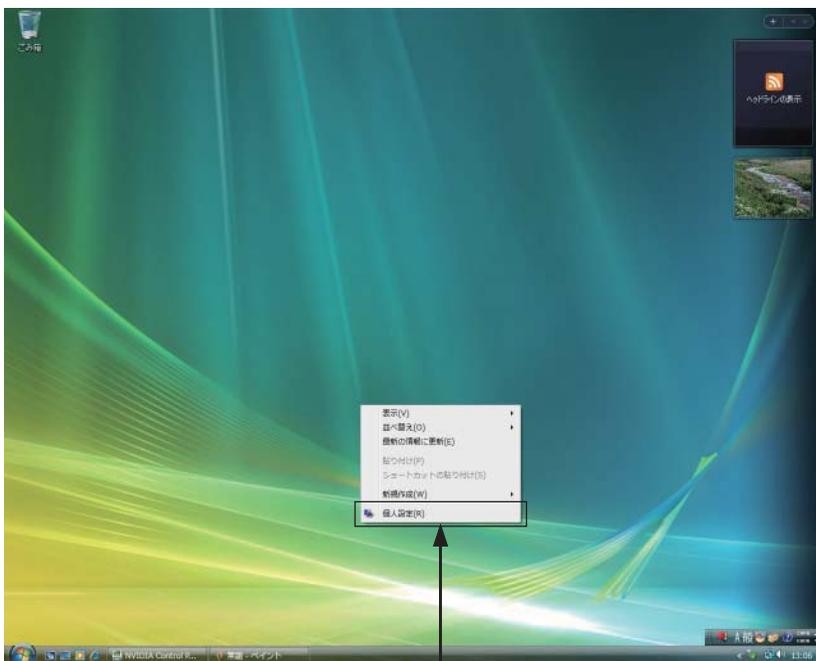
Windows Vista では、従来の Windows 製品と比較して操作方法が大幅に変更されています。

従来グラフィックスボードで独自に行われていた設定内容が Windows に統合され、画面関連の設定が Windows にて設定可能になっています。

ゲーム向けの設定や画面の表示方法の変更などを行うには、別途 NVIDIA コントロールパネルで 3D グラフィックスの描画方式や画面の描画方法などを変更できます。

こちらでは基本的な操作方法をご紹介します。

2.1 画面設定の呼び出し方法



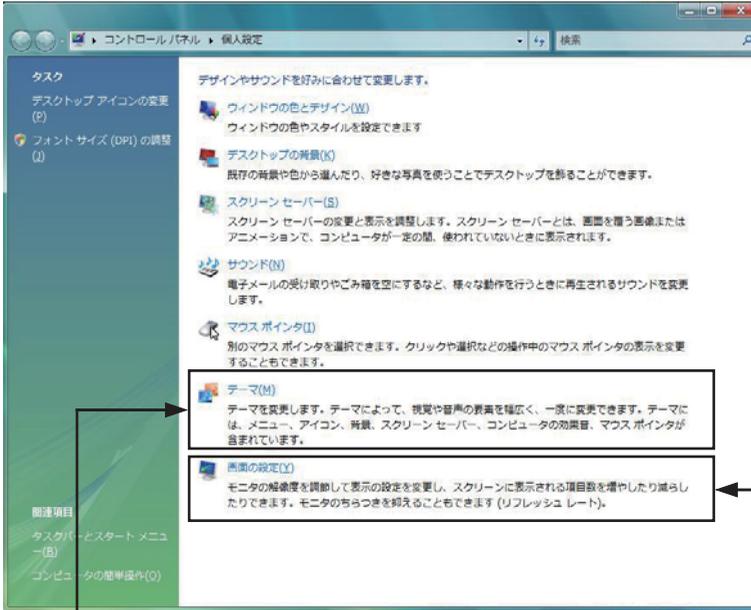
デスクトップ上で何も無い場所を右クリックして個人設定 (R) を選択してください。



画面の説明はWindows Vista Ultimate を使用しています。

グラフィックスボードに関連した設定は以下の 2 項目です。その他の設定に関しましては Windows での機能ですので説明を割愛します。

2.2 画面解像度及びその他の設定方法



テーマ (M)

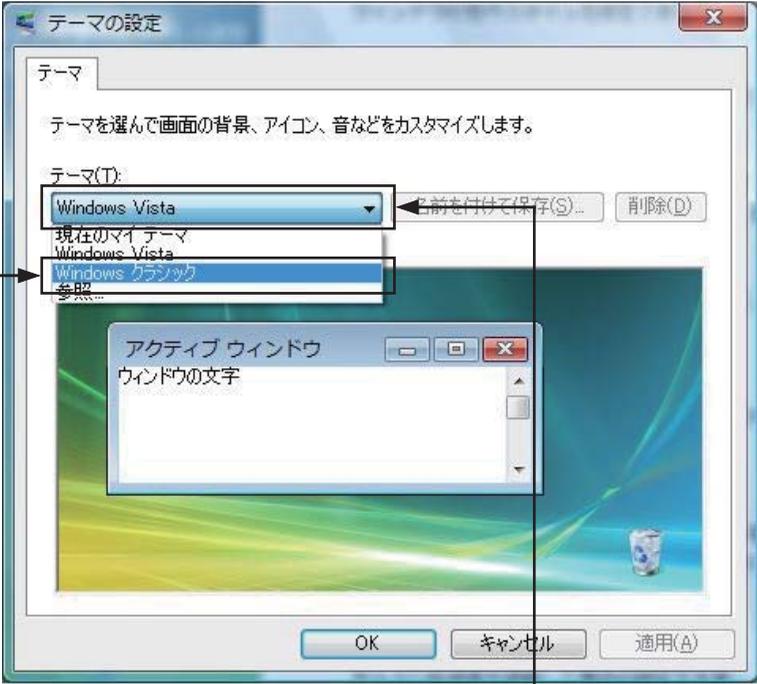
画面に表示されるテーマを変更することが可能です。こちらの設定を変更することにより、Windows Aero の有効 / 無効を切り替えられます。

画面の設定 (Y)

画面の解像度及びリフレッシュレート、画面の表示項目、リフレッシュレートなどの変更が可能です。こちらの設定を変更することにより、画面の表示方法などを最適な値に設定することが可能です。

2.3 デスクトップテーマの変更 (Windows Aero の有効 / 無効の切り替え)

使用するアプリケーションやグラフィックスのパフォーマンスが出ない場合には、Windows Aero を無効にする必要が出てくる場合がございます。以下に Windows Aero を切り替える方法をご案内します。



Windows Vista

Windows Aero が使用可能な設定です。Aero デスクトップにより、半透明など様々な新しいユーザーインターフェイスが使用可能です。Windows Aero をサポートするグラフィックスボードでは、デフォルトでこの設定が選択されます。

Windows クラシック

Windows Aero を無効にして、表示方法を従来の Windows と同じように表示する方法です。Aero を使用した際に描画が重い場合、また使用するアプリケーションが Windows Aero に対応していない場合、もしくは Windows Aero を動作させたくない場合に変更してください。

2.4 画面解像度の変更

画面の解像度や色数を変更する場合には、この画面から設定を行ってください。

モニタの識別 (I)
接続されているモニタを番号で識別します。

設定するディスプレイを選択できます。

色 (C)
色深度を変更します。
通常は 32 ビット (1677 万色) を選択してください。

詳細設定 (V)
画面カラーの表示モードやアダプタの詳細などの表示、設定が可能です。

モニタの識別 (I)
モニタ アイコンをドラッグしてお使いのモニタと合わせてください。

1. NVIDIA GeForce 9600 GT 上の汎用 PnP モニタ

このモニタをメインにする (I)
 デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする (E)

解像度 (R):
低 高
1440 x 900 ピクセル
[最適な表示を得るための詳細を表示します。](#)

色 (C):
最高 (32 ビット)

詳細設定 (V)...

OK キャンセル 適用 (A)

解像度 (R)
お使いのディスプレイに最適な解像度を選択してください。

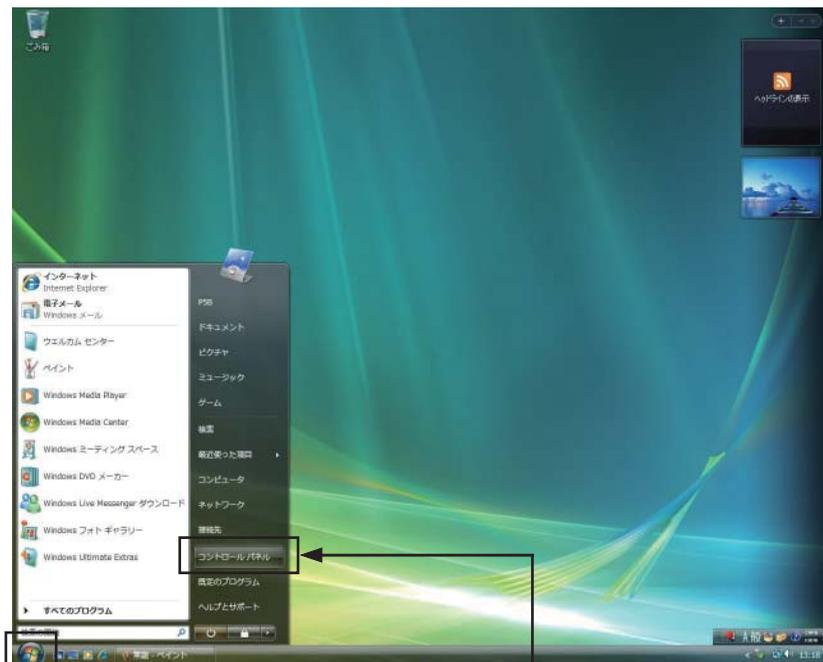
このモニタをメインにする (I)
こちらにチェックマークを入れると、そのモニタがメインのモニタとして設定されます。デュアルディスプレイ環境などで利用されていて、メインモニタを変更したい場合には、こちらのチェックマークを変更してください。

デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする (E)
複数モニタを有効にしたい場合、このチェックマークが付いていないモニタにチェックを入れるとそのモニタが有効になり、もう一つのデスクトップとして利用可能になります。

設定が完了しましたら、OK もしくは適用 (A) を押して設定を保存してください。

2.5 NVIDIA コントロールパネルの呼び出し方 (3D の設定及び画面の表示切替)

3D に関する設定や画面の表示方法、画面出力の変更などを行う際には、NVIDIA コントロールパネルから行う必要があります。以下の方法にて NVIDIA コントロールパネルを呼び出してください。



1. ウィンドウズスタートボタンをクリックします。

2. コントロールパネルをクリックします。



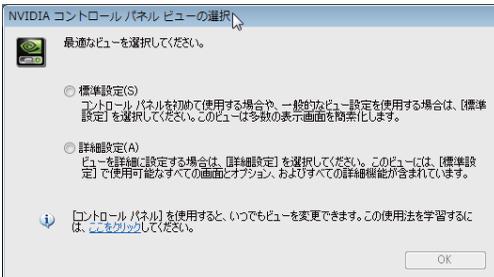
3. その他のオプションを選択します。



4. NVIDIA コントロールパネルをクリックします。



デスクトップの何も無い場所で右クリックして、メニューから NVIDIA コントロールパネルを呼び出す事も可能です。



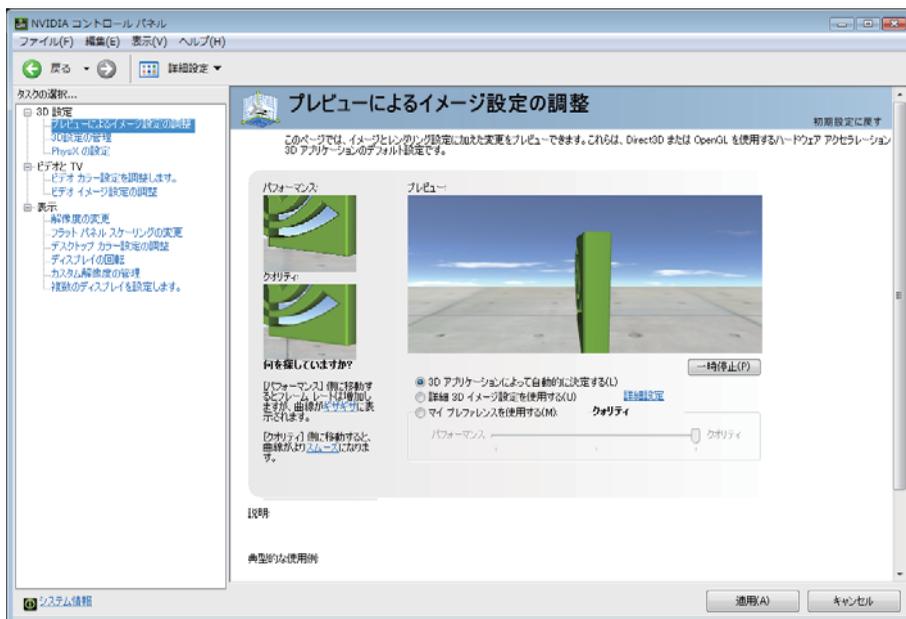
ドライバインストール後、NVIDIA コントロール パネルを初めて起動するとき表示されます。

お使いのグラフィックスボードが使用できる機能全ての設定を表示する場合は「詳細設定」を選択してください。

NVIDIA コントロールパネル初回起動以降は NVIDIA コントロールパネルの「表示」メニューより変更可能です。

NVIDIA コントロールパネルが表示されます。

NVIDIA コントロールパネルの詳しい操作方法に関しては、後述の NVIDIA コントロールパネル操作マニュアルをご覧ください。



なお、Windows Vista では NVIDIA コントロールパネルの一部機能が利用出来ません。

2.6 Windows Vista での制限事項

以下の機能は、Windows XP では利用可能ですが、Windows Vista ではシステム側の制限により使用することができません。

ただし、今後の Windows のバージョンアップ及びドライバのバージョンアップにより改善される可能性もあります。

・NVIDIA ディスプレイ接続ウィザード

NVIDIA のディスプレイ接続方法を選択する際に案内を行う設定ウィザードです。NVIDIA コントロールパネルでの手動による設定となります。

・NVKeystone

プロジェクタ等の画面歪み調整ツールです。

・ビデオオーバーレイ

Windows Vista では動画再生にオーバーレイが使用されないため、オーバーレイ機能を利用できません。

但し、アプリケーションとの互換製を保つ為、Windows Aero を無効にした状態で利用した場合のみ、オーバーレイが利用可能になります。

・Video ズーム機能

動画再生の一部分をズームして表示する機能です。

・GPU 温度モニター機能

グラフィックスボードの GPU 温度を表示する機能です。別途 NVIDIA のユーティリティにて確認できます。

・nView 水平スパン、垂直スパンモード

2 画面を水平もしくは垂直に接続して、仮想的に一画面として使用する機能です。

・ユニファイドバックバッファコントロール (UBB)

複数のウィンドウを作成する OpenGL アプリケーションにてバックバッファと深層バッファを共有するか、個別に割り当てるか設定します。

・エッジレンディング (NVIDIA Quadro FX シリーズの一部のみ)

パワーウォールにて境界線を目立たなくする機能です。

・ハイレゾリューションスケーリングデスクトップ (HRSD) (NVIDIA Quadro FX のみ)

高解像度において、アイコン等を見やすくする機能です。

・クワッドバッファーステレオ (3D ステレオ機能)

3D ステレオ表示により立体視を行う機能です。

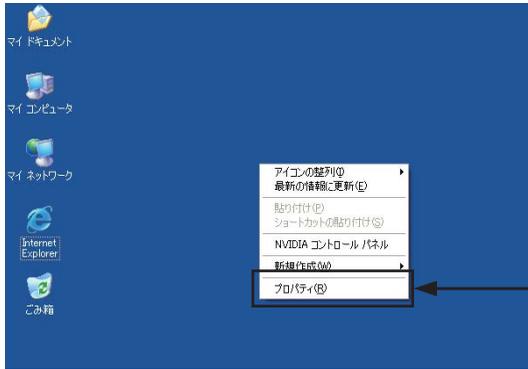
・MultiView ディスプレイモード (NVIDIA Quadro NVS シリーズのみ)

複数の画面を仮想の一画面として利用可能な機能です。

第三章

Windows XP の操作方法

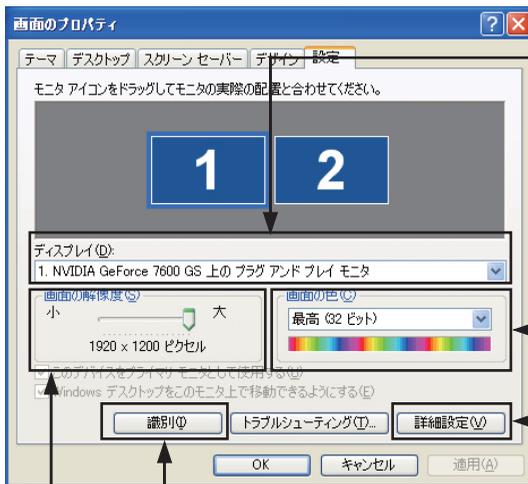
3.1 基本的な画面の操作について（解像度、色数変更など）



デスクトップの何も無い場所で右クリックしてプロパティを選択してください。

[スタート] ⇒ [設定] ⇒ [コントロールパネル] ⇒ [デスクトップの表示とテーマ] ⇒ [画面解像度を変更する] からも呼び出せます。

設定タブをクリックします。



ディスプレイ
使用しているグラフィックスボード名が表示されます。

画面の色
画面で表示できる色数を設定可能です。
中 (16 ビット) : 65536 色で表示可能です。
最高 (32 ビット) : 1677 万色で表示可能です。

詳細設定
Windows の表示方法などを細かく設定可能です。詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。

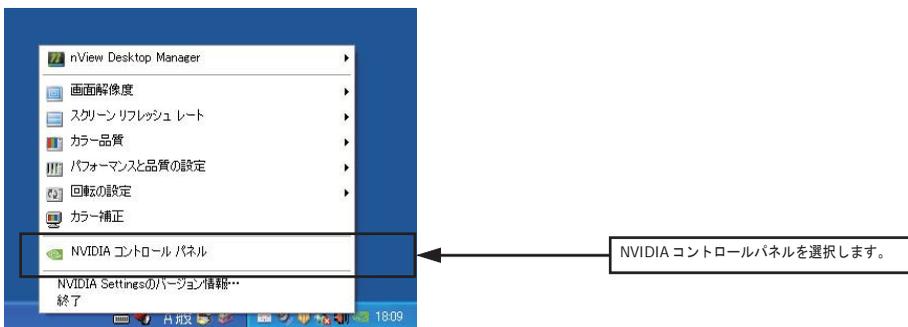
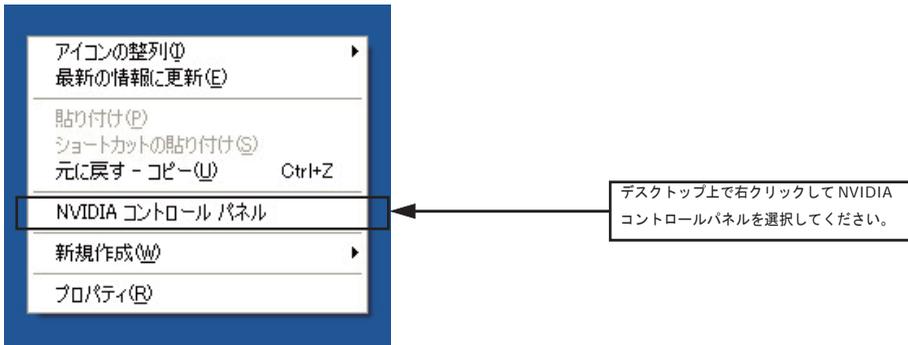
識別
現在の画面が、1 番及び 2 番のどちらを使用しているか表示します。2 画面接続時に利用可能です。

画面解像度
画面が表示される領域の選択が可能です。
モニタに最適な解像度を設定してください。

3.2 NVIDIA コントロールパネルの呼び出し方法

NVIDIA コントロールパネルとは、通常の画面設定以外にマルチスクリーンの表示方法の変更や、3D 関連の詳細な設定、カラー調整などを調整することが可能です。

細かい調整が必要な場合には、以下の方法にて呼び出してください。



第四章

サウンド出力の変更方法

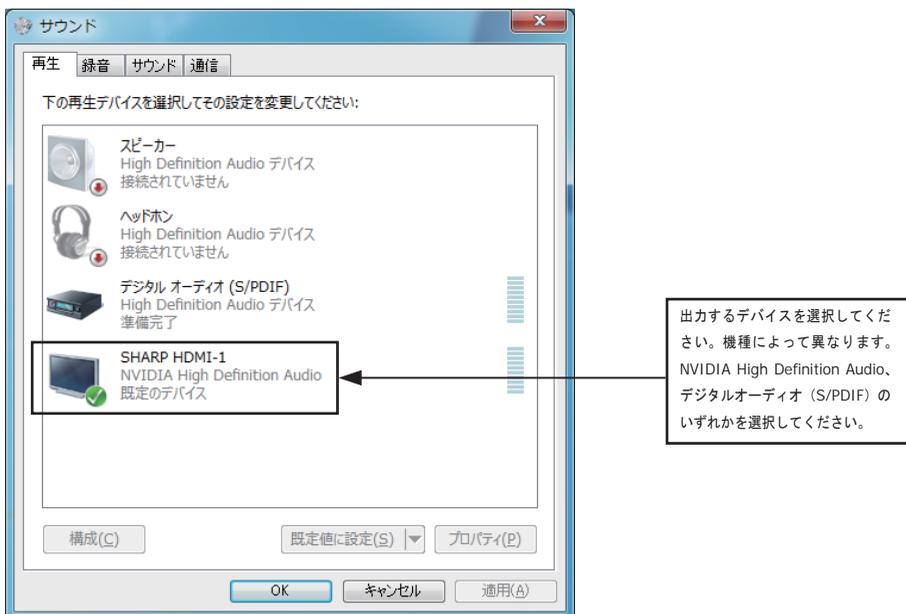
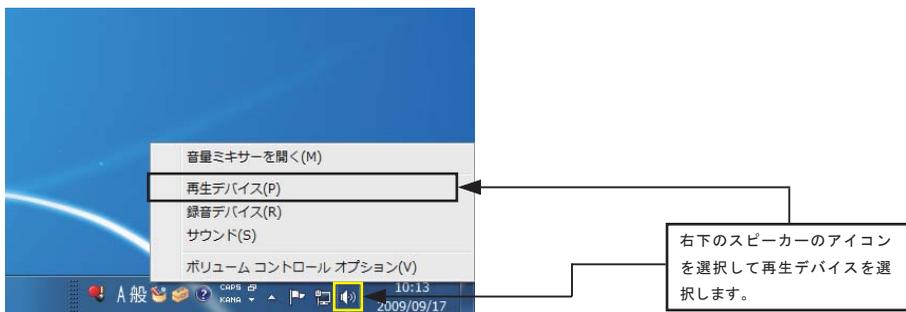
(オーディオ出力対応製品のみ)

サウンド出力の変更方法

4.1 Windows Vista/7 サウンド出力の変更方法

最新のグラフィックボードには HDMI サウンド出力機能が搭載されているものがあります。

以下の手順でサウンドの出力先を変更することで HDMI サウンド出力になります（サウンド出力に対応していない製品は以下の設定ができません）。



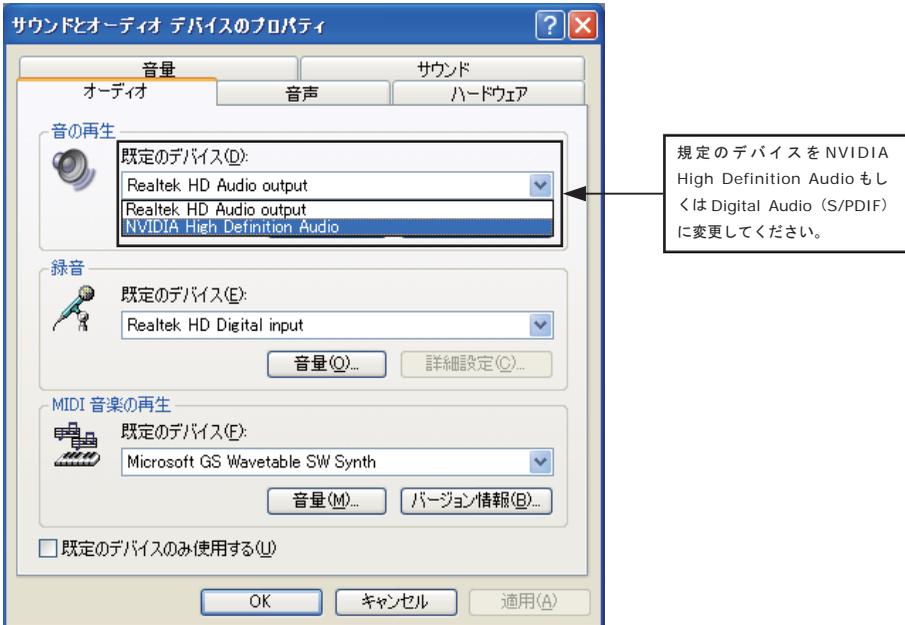
設定が完了しましたら、OK を押して設定を保存してください。

4.2 Windows XP サウンド出力の変更方法

最新のグラフィックボードには HDMI サウンド出力機能が搭載されているものがあります。

以下の手順でサウンドの出力先を変更することで HDMI サウンド出力になります（サウンド出力に対応していない製品は以下の設定ができません）。

コントロールパネルを開きサウンドを選択します。



設定が完了しましたら OK を押して設定を保存してください。



サウンドチップメーカーによってはメーカーオリジナルのコントロールパネルで設定を変更する場合がありますので、その場合には、サウンドチップメーカーのマニュアルをご覧ください。

第五章

NVIDIA コントロールパネルの 操作方法

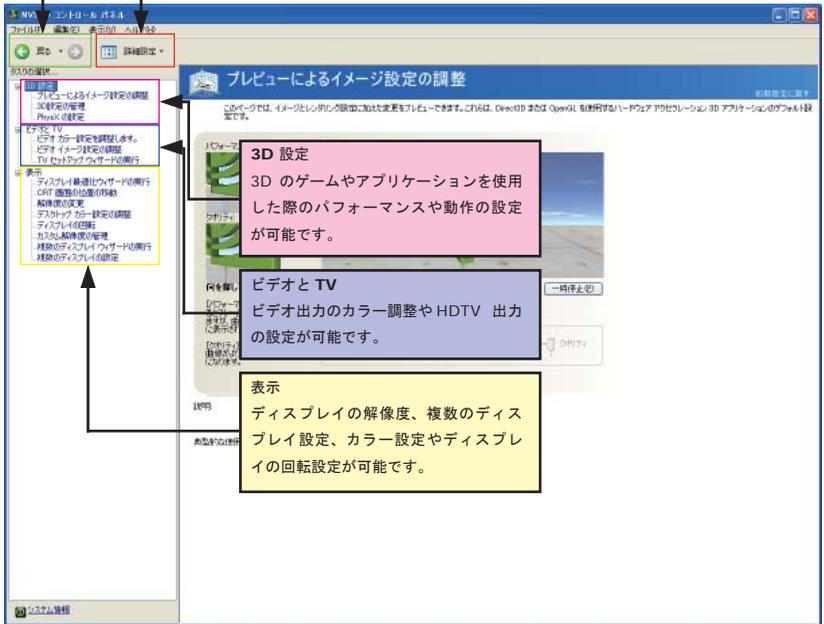


Windows Vista/7 では一部機能が制限されます。

5.1 NVIDIA コントロールパネルでの操作方法

戻る、進むボタン
ブラウザと同様な方法で一つ前の階層
に戻ることが可能です。

詳細設定 / 標準設定切替ボタン
表示する設定項目を切替るボタンです。

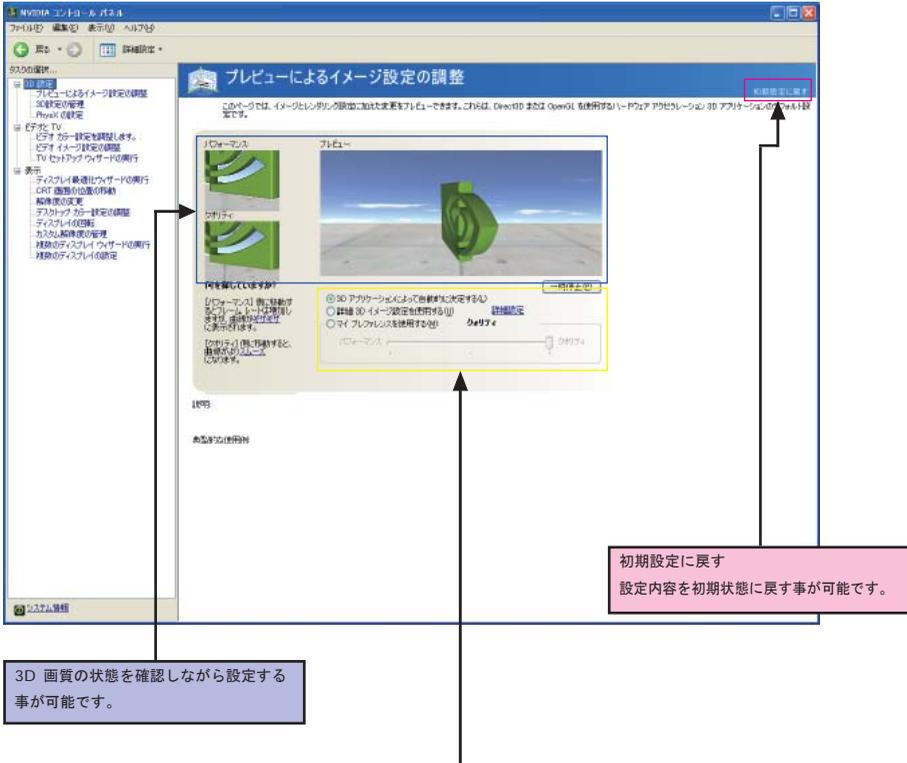


5.2 3D 設定

3D を使用するアプリケーションに関する設定を行う事が出来ます。

5.2.1 プレビューによるイメージ設定の調整

3D の画像を確認しながら 3D 画質の設定を行う事ができます。



3D アプリケーションによって自動的に決定させる (L)

3D のゲームやソフトウェアにより自動的に最適な設定に調整します。

詳細 3D イメージ設定を使用する (U)

手動による詳細な 3D 設定が可能です。上級者向けの設定です。設定を行うには「詳細設定」をクリックしてください。詳しくはこの後の「3D 設定の管理」にて説明します。

マイプレファレンスを使用する (M)

パフォーマンスと品質の設定を、手動にて設定可能です。

パフォーマンス側にスライダーを移動すると、3D の処理速度が早くなりますが画質が低下します。

クオリティ側にスライダーを移動すると、3D の処理速度が遅くなりますが画質が向上します。

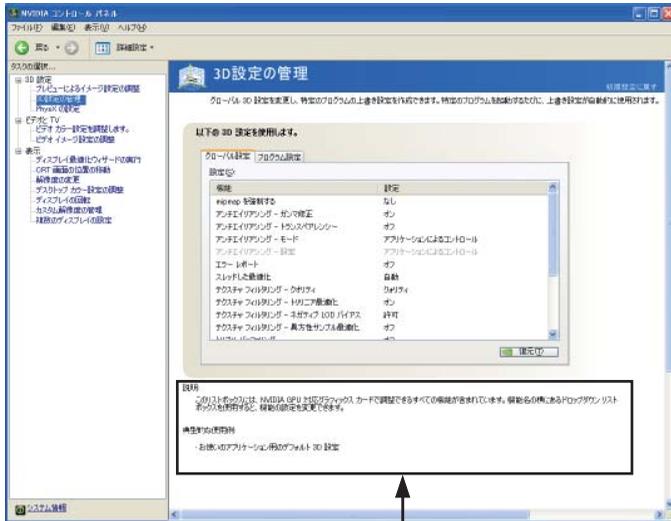
5.2.2 3D 設定の管理

3D に関する詳細設定を行う事ができます

5.2.2.1 グローバル設定

グローバル設定は全ての 3D アプリケーションに対して適用されます。

グローバルプリセットのベースプロフィールは使用するボード、ドライバ、OS によって変わりますので、それぞれの機能の説明は NVIDIA コントロールパネルの下部に説明と使用例が表示されますのでそちらをご参照ください。

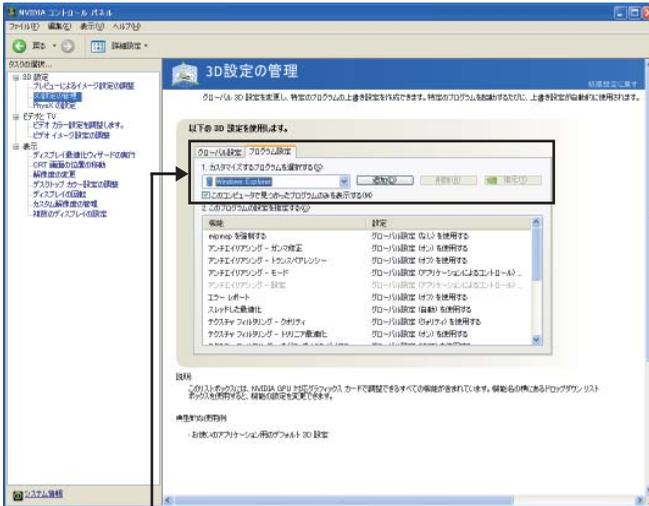


設定項目の機能を選択するとその機能の説明と典型的な使用例が表示されます。

5.2.2.2 プログラム設定

初期に登録されているアプリケーション毎に最適な設定が保存されています。個別のアプリケーション毎に設定を保存する事が可能です。ユーザー自身でアプリケーションを追加する事も可能です。

Quadro の場合、各アプリケーションに用に初期値が設定されており、自動的に適用されます。



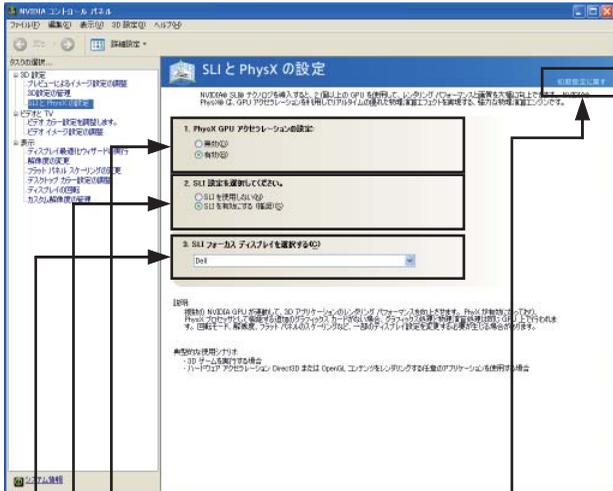
各アプリケーション（ベンチマークやお使いのソフト）に対して個別の設定を行う場合には、使用するアプリケーションを選択して「設定を特定する」の項目にて設定してください。

ソフトウェアごとに個別の 3D 設定を使用する事が可能です。

5.2.3 PhysX の設定と SLI の設定

PhysX 対応グラフィックスボードを接続した場合、PhysX の設定メニューが表示されます。

PhysX 機能を使用するに選択すると物理演算を GPU で行います。



初期設定に戻す
設定内容を初期状態に戻す事が可能です。

PhysX GPU アクセラレーションの設定
無効 / 有効でオプションボタンで設定可能です。

SLI 設定を選択してください
SLI を有効にするか、設定せずにマルチビューに設定するかを選択します。

SLI フォーカスディスプレイを選択する
SLI を有効にした場合に出力するディスプレイを選択します。

 PhysX は GPU が GeForce8000 番台 (GLADIAC 988/786/785/584) 以降対応。

 Quadro シリーズでは、Quadro SLI 対応のマザーボードが必要です。

5.3 ビデオと TV 調整設定

ディスプレイモニタの動画再生や、ビデオ出力を行った際のカラーの調整、及び HDTV 出力の設定が可能です。



ビデオカラー設定を調整します。

動画再生アプリケーションなどで表示される動画の明るさやコントラスト、カラーバランス等が調整可能です。

ビデオイメージ設定の調整

PureVideo(TM) テクノロジー対応のグラフィックスボードをお使いの場合、ビデオ再生を行いながら調整が可能です。

TV セットアップウィザードの実行

テレビの表示される端子（コンポジット/S端子/D端子）と画面調整をウィザード形式にて行います。

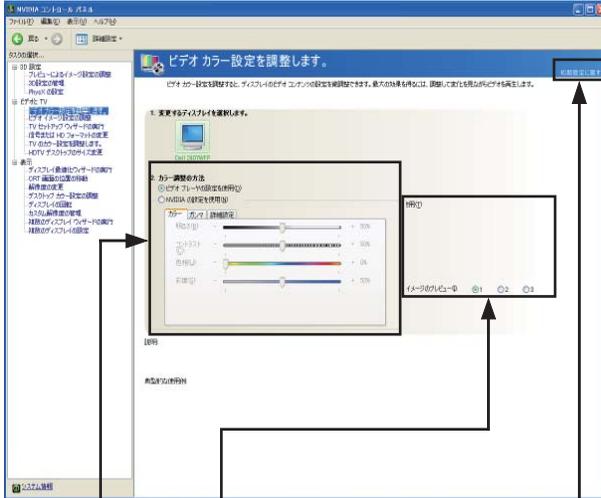


動画の種類やアプリケーション、オーバーレイ機能を使用しない場合は、フルスクリーンオプションを有効にしても表示されない場合があります。

5.3.1 ビデオ カラー設定の調整

動画再生で表示される画像の調整を行う事が可能です。

5.3.1.1 スタンダード



初期設定に戻す
設定内容を初期状態に戻す事が可能です。

実際の動画がどのように表示されるかが、プレビューにて確認できます。

明るさ
モニタの明るさ（輝度）を調整します。

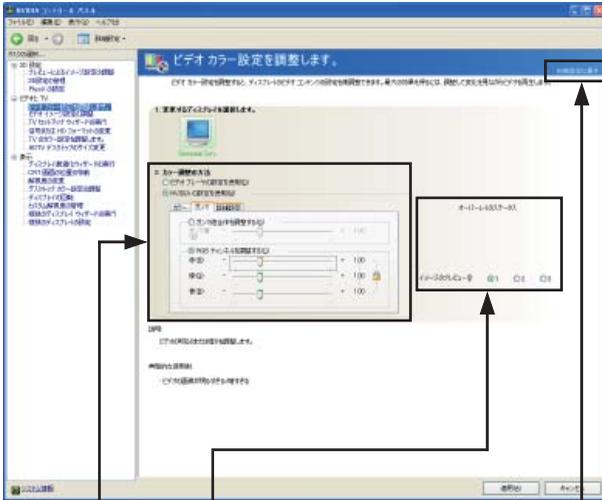
コントラスト
画面のコントラストを調整します。

色相
色の度合を調整します。

彩度
色の濃さを調整します。

ガンマ
画面のガンマ補正を行います。

5.3.1.2 RGB ガンマタブ



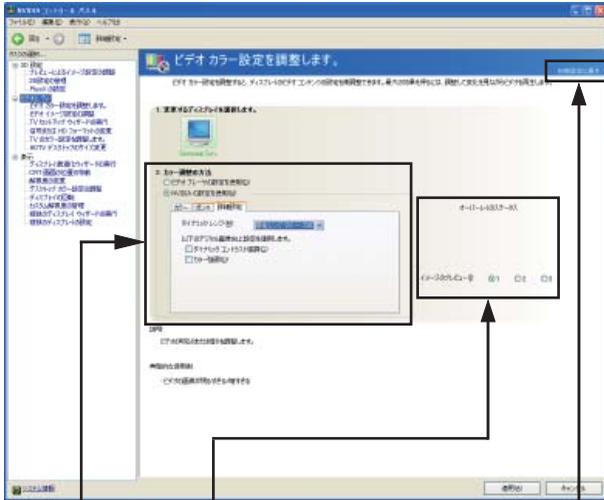
初期設定に戻す
設定内容を初期状態に戻す事が可能です。

実際の動画がどのように表示されるかが、プレビューにて確認できます。

ガンマ値全体を調整する
RGB (赤青緑) のガンマ値を調整します。

RGB チャンネルを調整する
RGB (赤青緑) のガンマ値を個別に調整します。錠アイコン  をクリックすると、RGB 個別に調整が可能  になります。

5.3.1.3 詳細設定



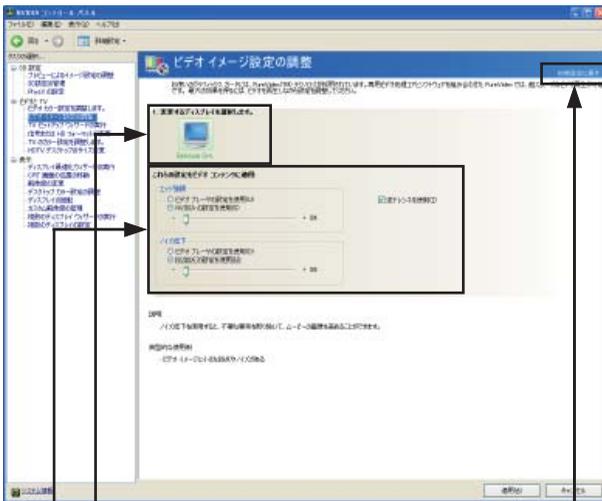
初期設定に戻す
設定内容を初期状態に戻す事が可能です。

実際の動画がどのように表示されるかが、プレビューにて確認できます。

ダイナミック レンジ
ビデオコンテンツのダイナミック レンジを設定可能です。
「限定レンジ (16 ~ 235)」一般的な設定で主にテレビで使用されています。
「フル レンジ (0 ~ 255)」対応したテレビなどの場合「フル レンジ」を選択すると、より高精細な表示が可能です。

5.3.2 ビデオイメージ設定の調整

PureVideo (TM) テクノロジ対応のグラフィックスボードをお使いの場合、ビデオ再生をおこないながら調整が可能です。



初期設定に戻す
設定内容を初期状態に戻す事が可能です。

1. 変更するディスプレイを選択します。

これらの設定をビデオ コンテンツに適用
エッジ強調
映像のエッジ（輪郭）部分のコントラストを高め映像を鮮明にします。
ノイズ低減
映像中のノイズを低減させ、映像の画質を高めます。

5.3.3 信号または HD フォーマットの変更

テレビに出力する際の出力信号を選択する事が可能です。



お使いのテレビの出力方式を選択します。

コンポジット (ビデオ出力)

一般的なコンポジット方式によるビデオ出力形式です。

S ビデオ (S ビデオ出力)

S 端子によるビデオ出力です。

コンポーネント (HDTV)

コンポーネント及び D 端子での出力です。詳しくは次項をご覧ください。

HDMI

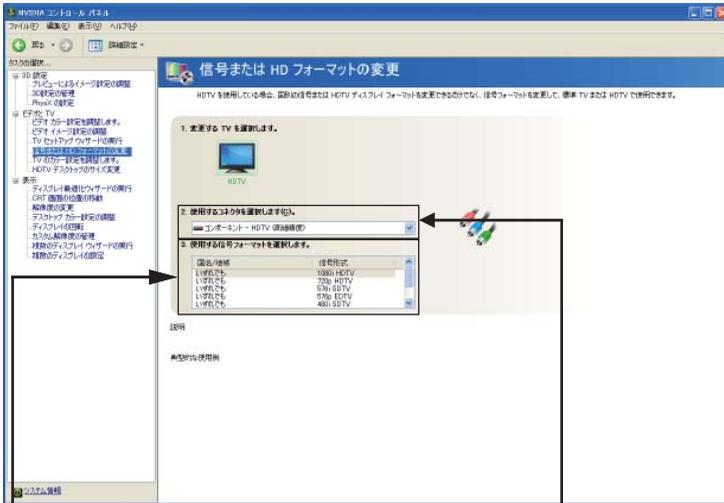
HDMI デジタルコネクタによる出力です。

自動検出

出力されるビデオ信号を自動的に検出します。

 自動検出にて正常に信号が出力されない場合には、手動にて変更してください。

テレビに出力する際の出力信号を選択する事が可能です。



HDTV を選択すると表示する画面解像度を選択できます。

- D1 480i 720x480 (インターレス表示)
- D2 480p 720x480 (プログレッシブ表示)
- D3 1080i 1920x1080 (インターレス表示)
- D4 720p 1280x720 (プログレッシブ表示)
- D5 1080p 1920x1080 (HDMI のみ出力可能)

576p/576i は通常では使用しません。

表示できる解像度は、お使いのテレビのマニュアルをご覧ください。



必ずお使いのテレビの解像度に合わせてください。

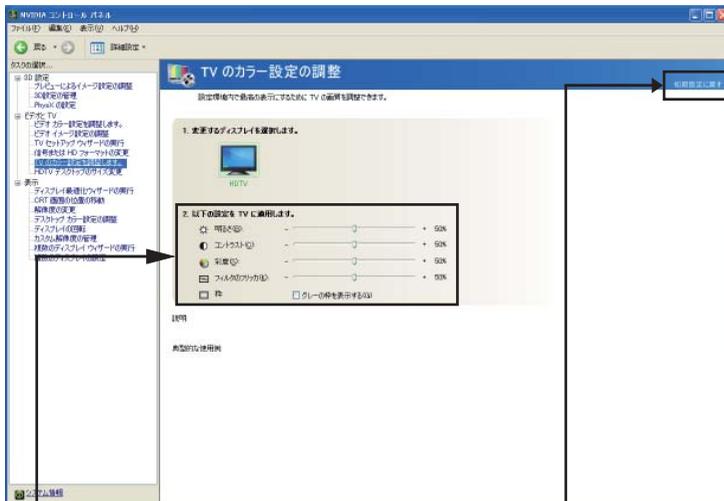
異なる解像度に設定した場合、テレビの表示がおかしくなったりテレビに障害を与える場合があります。



画面の表示の一部が隠れてしまう場合には、HDTV デスクトップサイズ・表示モードの変更メニューをご覧ください。

5.3.4 TV のカラー設定の調整

テレビ出力した画面の明るさやコントラストが調整可能です。



初期設定に戻す
設定内容を初期状態に戻す事が可能です。

明るさ
画面の明るさを調整します。

コントラスト
画面のコントラストを調整します。

彩度
TV イメージのカラーレベルを調整します。

フィルタのフリッカ
TV に適用するフリッカフィルタの量を調整します。

枠
デスクトップ周囲の枠をグレーにします。

5.3.5 ビデオと TV 調整設定

5.3.5.1 画面サイズと位置の調整

コンポーネント接続にてテレビ表示 (HDTV) 表示した際に、画面が切れてしまう場合にこちらの設定にて自動調整可能です。



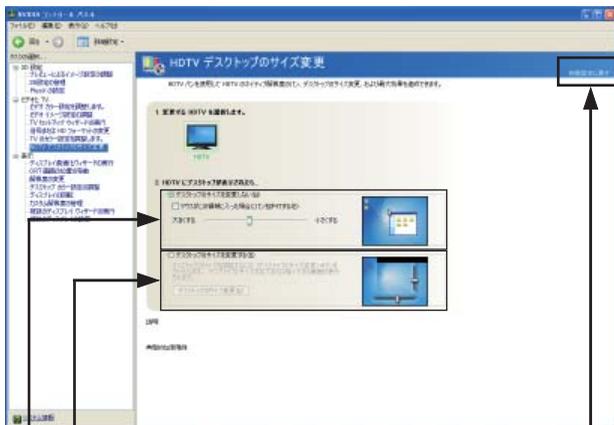
初期設定に戻す
設定内容を初期状態に戻す事が可能です。

サイズ (S)
+ を押す事により画面サイズを拡大出来ます。
- を押すと画面を縮小する事が可能です。

位置 (O)
デスクトップの画面位置を←↑↓→ボタンで移動する事が可能です。テレビに表示されている画面の位置がずれている場合に使用してください。

5.3.5.2 HDTV デスクトップのサイズ変更

D 端子、コンポーネント端子、HDMI 接続時の設定です。



初期設定に戻す
設定内容を初期状態に戻す事が可能です。

デスクトップのサイズを変更する
画面を見ながらマウスでデスクトップサイズを変更することができます。

デスクトップのサイズを変更しない
デスクトップのサイズはそのまま表示をおこないます。

5.4 表示

ディスプレイモニタの解像度や色設定、画面の回転やディスプレイスケールिंगの設定が可能です。

また、ウィザード形式によるマルチモニタの設定や画面の調整が可能です。



ディスプレイ最適化ウィザードの実行
ディスプレイを調整しカラーを最適化します。

解像度の変更

画面の解像度、色数、リフレッシュレートを調整可能です。

デスクトップカラー設定の調整

デスクトップカラーの色合や明るさなど調整可能です。

デスクトップサイズと位置の調整

液晶モニタに表示する画面が自動的に調整されるスケールング機能を調整できます。

ディスプレイの回転

ディスプレイの画面を回転させて、縦表示などの設定を行う事が可能です。

HDCP ステータスを表示します。

画面の調整を行う際に、画面表示のテストパターンやカラーパターンを表示してお使いのモニタ表示の調整機能を使用し、最適な状態に調整をするウィザードです。

複数のディスプレイの設定

マルチモニタ環境で使用する際に、どのように画面を表示するかの設定が可能です。

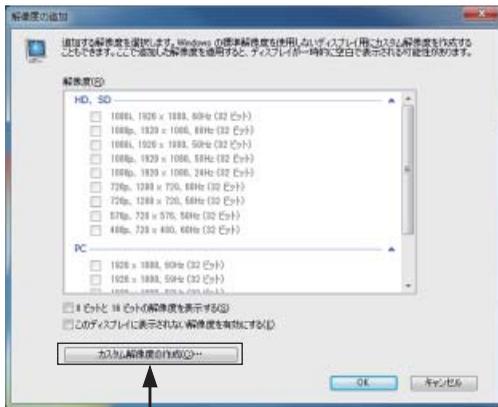
5.4.1 解像度の変更

ディスプレイモニタに表示されている画面の解像度を変更できます。



解像度 (S)・リフレッシュレート (R)・色の深度 (C)
ディスプレイモニタが利用できる解像度、リフレッシュレート、色の深度が表示されます。

解像度の追加 (O)
一般的な解像度が選択可能になります。

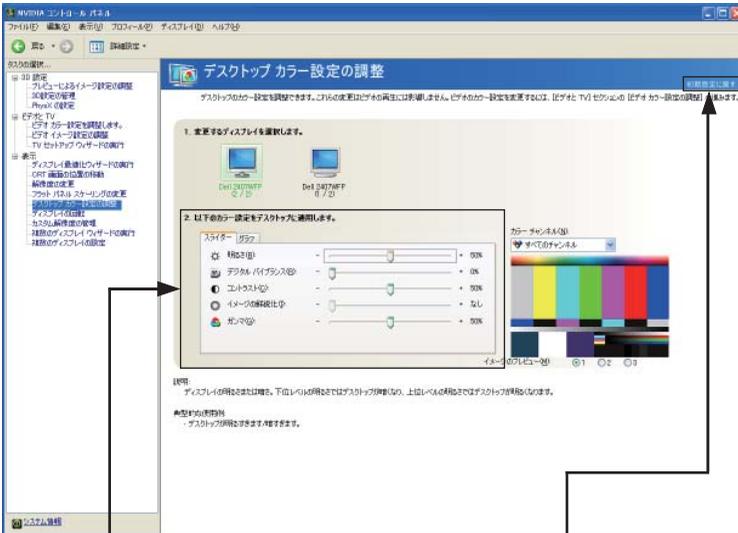


カスタム解像度の作成 (C)・・・
解像度を自由に作成できます。

 解像度によっては作成できない場合があります。

 この「ディスプレイに表示されない解像度を有効にする」をチェックすると表示されない解像度も選択できますが、画面が表示されなくなったり、ディスプレイモニタに以上が出る場合がありますので、復旧の手順がわからない場合にはこの機能は利用しないでください。

5.4.2 デスクトップカラー設定の調整



初期設定に戻す
設定内容を初期状態に戻す事が可能です。

明るさ
デスクトップの明るさ（輝度）を調整します。

デジタルバイブランス
ワークスペースの証明状態を補正します。デスクトップが不鮮明な場合や眼精疲労を軽減したい場合に使用します。

コントラスト
デスクトップの白い部分から黒い部分までの階調を調整します。
コントラストを高くすると、白い部分はより白く、黒い部分はより黒くなります。

イメージの精鋭化
イメージの輪郭部分のコントラストを鮮明にします。

ガンマ
デスクトップの中間色の彩度、明るさを調整します。

5.4.3 デスクトップのサイズと位置の調整

5.4.3.1 CRT 画面の位置の移動

アナログディスプレイモニタの表示位置を調整可能です。

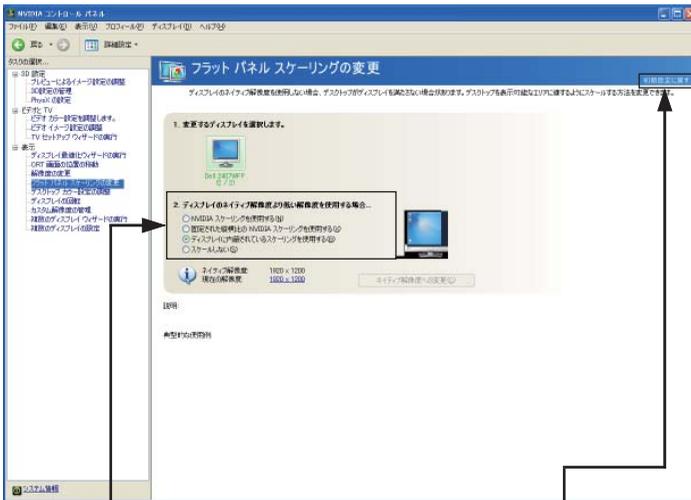


初期設定に戻す
設定内容を初期状態に戻す事が可能です。

矢印ボタンをクリックして画面の位置を調整します。
上下左右の矢印ボタンを押して、アナログモニタの表示位置を調整します。

5.4.3.2 フラットパネルスケーリングの変更設定

画面の解像度が実際のモニタの解像度より低い解像度に設定された場合に、表示領域を自動的に調整するスケーリング機能を選択できます（DVI モニタのみ）。



初期設定に戻す
設定内容を初期状態に戻す事が可能です。

NVIDIA スケーリングの使用

NVIDIA ドライバによるスケーリング機能を利用する事が可能です。

固定された縦横比の **NVIDIA** スケーリングを使用する
固定された縦横比率でのスケーリング機能を使用します。縦横比がワイド画面などの場合で、縦横比を 4:3 で利用する場合に強制的に変更する事が可能です。

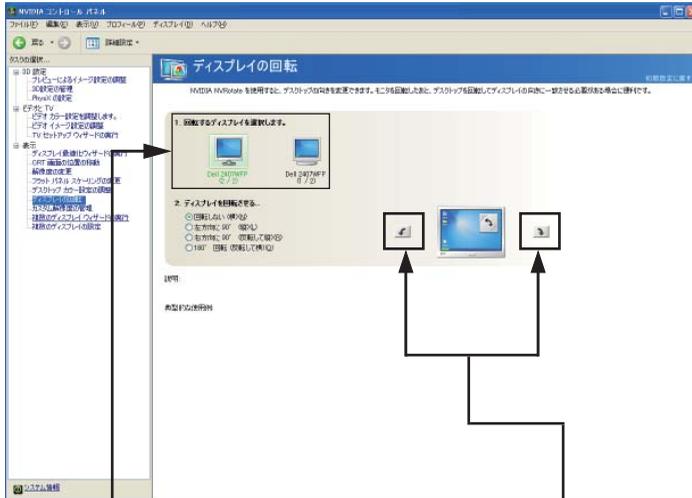
ディスプレイに内蔵されているスケーリングを使用する
液晶ディスプレイに内蔵されているスケーリング機能を利用します。液晶モニタの機能を利用して、画面の表示サイズを自動調整により表示を最適化します。

スケールしない

実際の画面のサイズに自動調整せずに、そのままの解像度で画面を表示します。実際の画面に黒縁によるスペースが表示されます。

5.4.4 ディスプレイの回転

ディスプレイモニタを縦表示にしたり、回転したりする事が可能です。



左右回転ボタンを押して好きな方向に回転できます。

回転しない (横)
通常の画面です。

左方向に 90° (縦)
モニタを左側に 90 度回転します、縦置きに切り替えできるモニタで利用する際に便利です。

右方向に 90° (反転して縦)
モニタを右側に 90 度回転します、縦置きに切り替えできるモニタで利用する際に便利です。

180° 回転 (反転して横)
画面を 180 度反転して表示します。

 ディスプレイの回転設定を有効にした場合、水平スパン、垂直スパンの機能をご利用頂けません。
使用するアプリケーションによっては回転した画面を認識できない場合があります。

5.4.5 HDCP ステータスを表示します。

ご利用のグラフィックカード及びディスプレイモニタが HDCP (High-Bandwidth Digital Connect Protection) の機能に対応しているかを判定します。



HDCPに対応しているグラフィックスボードとモニタの場合はモニタに画面が表示されている画面が出ています。



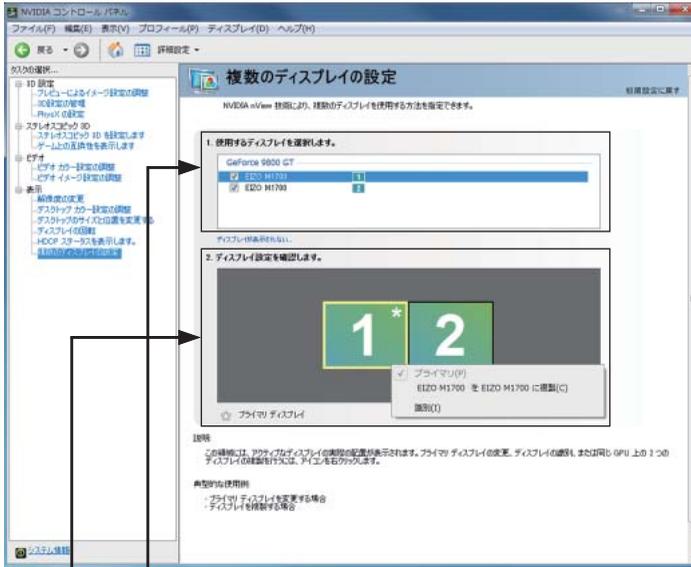
グラフィックスボード及びデジタルモニタが HDCP に対応していない場合は画面が表示されていない画面が出ます。

 画面のクローン（複製）機能、水平及び垂直スパンモード、Multiview 機能を利用した場合、HDCP の機能は動作いたしません。

5.4.6 複数のディスプレイの設定

5.4.6.1 Windows Vista/Windows 7 の場合

Windows Vista/Windows 7 では複数のディスプレイ設定が XP とは異なります。



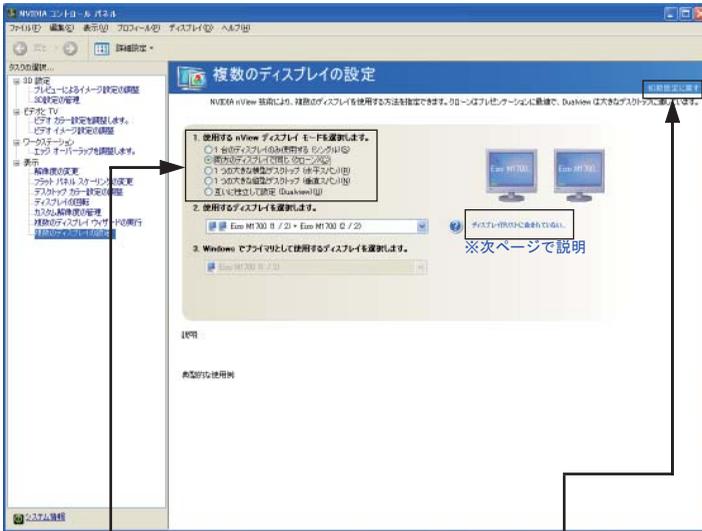
使用するディスプレイを選択します。
表示する画面にチェックを入れて「適用」をクリックすると複数のディスプレイが使用できるようになります。

ディスプレイ設定を確認します。
画面の識別及び画面の複製を利用する場合に選択してください。

 Windows Vista/7 では水平、垂直スパン機能が利用できません。

5.4.6.2 ディスプレイ設定の変更

複数のモニタを使用した際の、表示方法を設定します。



初期設定に戻す
設定内容を初期状態に戻す事が可能です。

1 台のモニタを使用する (シングル)
通常の画面です。

両方のディスプレイで同じ (クローン)
両方のモニタで同じ画面を表示します。

1 つの大きな横型ディスプレイ (水平スパン)

2 台のモニタを左右に接続して、1 台の大型水平モニタとして使用します。GeForce では表示されません。

1 つの大きな縦型ディスプレイ (垂直スパン)

2 台のモニタを上下に接続して、1 台の大型垂直モニタとして使用します。GeForce では表示されません。

互いに独立して設定 (DualView)

画面が 1 画面ずつ独立して各々の画面にてアプリケーションを使用できます。



クローンモード、水平スパン、垂直スパンのモードを使用した場合、Windows Media Player 等使用した動画再生に関しては、1 画面のみにしか表示ができません。2 画面の中間にて動画を再生する事も出来ません。



DirectX 対応のゲームは 1 画面のみ使用可能です。

●ディスプレイがリストに含まれていない...

現在ディスプレイリストにディスプレイが含まれていない場合には、正確なディスプレイ検出をクリックしてください。

The screenshot shows a dialog box titled "見当たらないディスプレイの検出" (Find Missing Displays). It contains two main sections: "正確なディスプレイ検出" (Correct Display Detection) and "TV 強制検出" (TV Forced Detection). The "正確なディスプレイ検出" section has a button labeled "正確なディスプレイ検出 (R)". The "TV 強制検出" section has a checkbox labeled "起動時の TV 強制検出 (E)". At the bottom right are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons. Three callout boxes provide additional information: one points to the "正確なディスプレイ検出 (R)" button, one points to the "起動時の TV 強制検出 (E)" checkbox, and one points to the "OK" button.

見当たらないディスプレイの検出

正確なディスプレイ検出
 [正確なディスプレイ検出] は、古くて検出されなかったディスプレイを検出します。下記のボタンをクリックすると、今すぐそれらを検出できます。

正確なディスプレイ検出 (R)

TV 強制検出
 TV が見つからなかった場合に強制検出します。これを有効にすると、システムのスタートアップ時間が長くなります。

起動時の TV 強制検出 (E)

OK キャンセル

ディスプレイがリストに含まれていないを選択した場合、モニタの検出を行います。

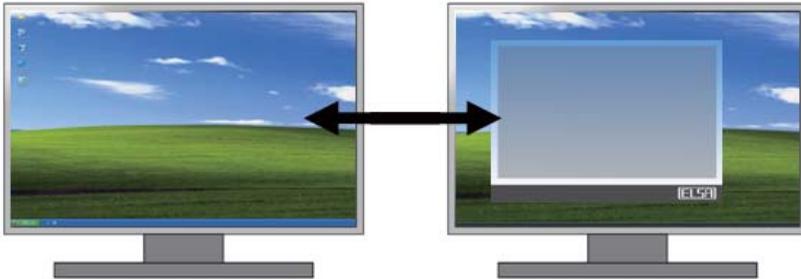
TV 強制検出
 TV が検出できない場合に、こちらのチェックボックスを有効にすると強制的にテレビ出力を行います。

! 但し、こちらの機能を利用するとシステムの起動に時間が掛かります。
 また、テレビ以外のモニタとの 2 画面出力が行えません。

5.4.6.3 画面モードの説明

Dualview モード

各画面が独立した状態で表示するモードです。タスクバーなどは隣の画面に表示されません。



画面の右側で隣の画面に接続されています。

クローンモード

同じ画面を 2 画面に表示するモードです。



Windows Media Player などの動画再生ソフトを 2 つの画面の中間にウインドウを置いて動画を再生する事は出来ません。どちらかの画面に移動した状態で再生してください。

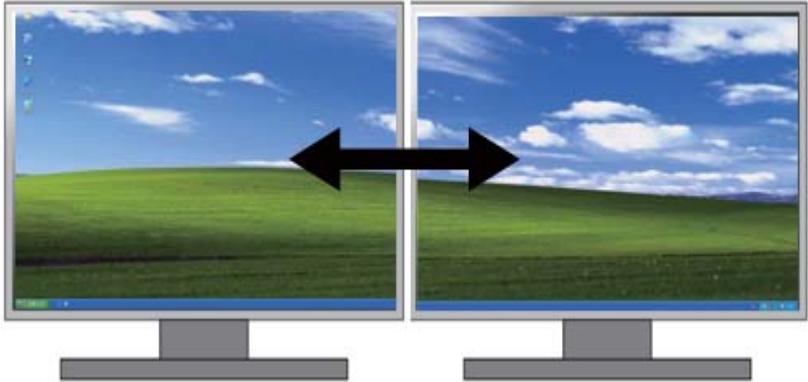
DirectX のフルスクリーンを使用したアプリケーションを利用した場合、セカンダリ側の画面表示が正常に表示されないことがあります。



クローンモードでは、セカンダリ側に動画を表示する事が出来ない場合があります。ソフトウェアによっては、2 画面モードでご利用できない場合がございますので詳しくは各ソフトウェアメーカーにご確認ください

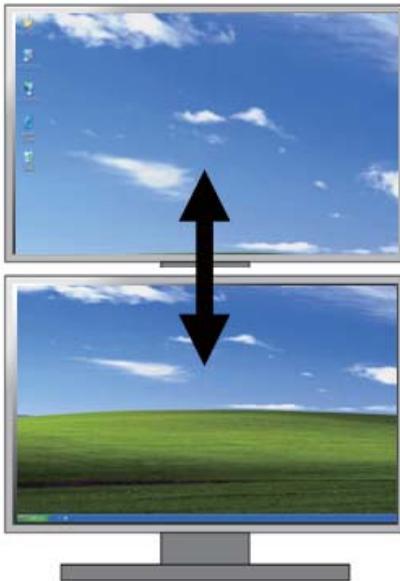
水平スパンモード（対応ボードのみ）

画面が横に接続された状態です。タスクバーも隣の画面に表示されウィンドウを最大化した場合、両方の画面を使用してフルに表示されます。



垂直スパンモード（対応ボードのみ）

画面が縦に接続された状態です。ウィンドウを最大化した場合、両方の画面を使用してフルに表示されます。



Windows Media Player などの動画再生ソフトを2つの画面の中間にウィンドウを置いて動画を再生する事は出来ません。どちらかの画面に移動した状態で再生してください。



DirectXのフルスクリーンを使用したアプリケーションは利用できません。ソフトウェアを動作させた場合にシステムが停止する恐れがあります。また、ソフトウェアによっては、2画面モードでご利用できない場合がございますので詳しくは各ソフトウェアメーカーにご確認ください。



Windows Vista/7 ではこの機能は利用できません。

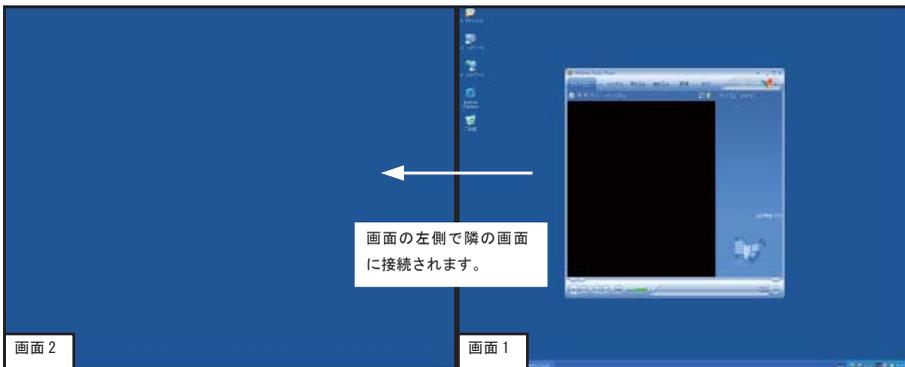
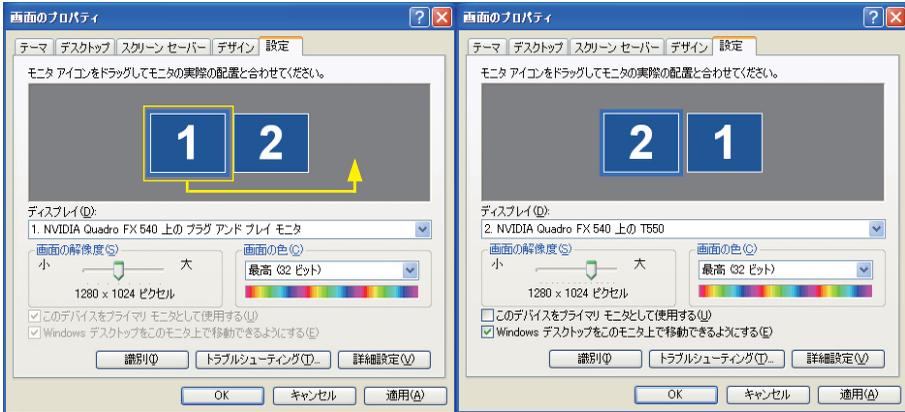
5.4.6.4 デュアルディスプレイの設定方法 (DualView モード用の操作)

画面の配置場所を変更する

Windows のデスクトップを右クリックして、画面のプロパティを表示して以下のような操作を行います。

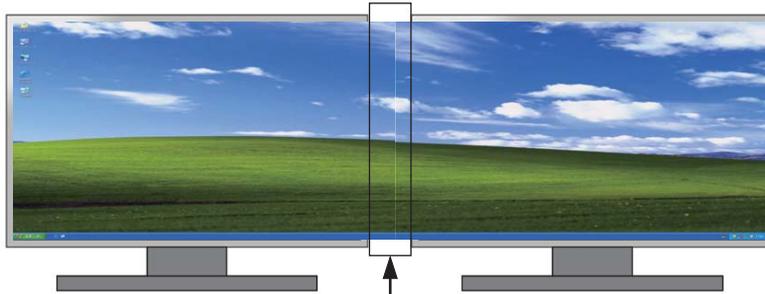
動かす画面をドラッグして後ろに移動させます

画面の配置が逆になります

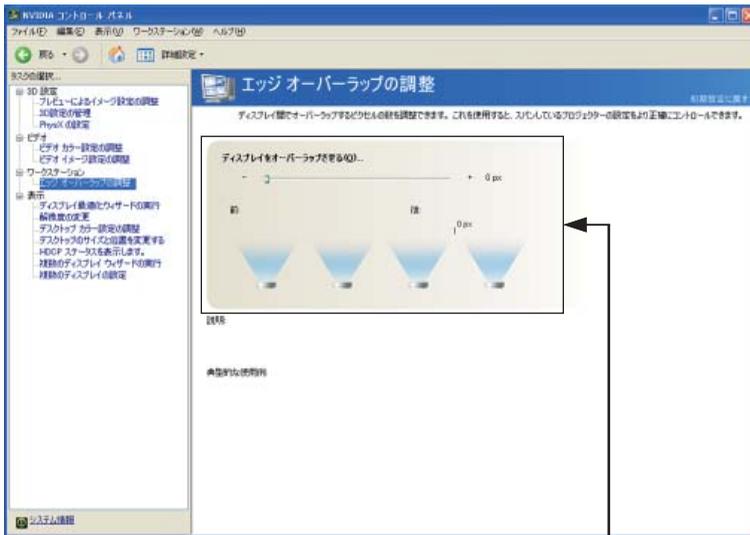


5.6 エッジオーバーラップの調整

液晶モニタ等を2画面接続して重ねて表示した場合に、隣の画面まで画面表示領域を拡大して画面に表示されない枠の部分を重ねて表示できます。



画面領域を隣の画面にオーバーさせて表示した部分



ゲームとの互換性の表示

こちらを選択すると、3D VISION とゲームの対応状況を見ることができます。

第六章

nView デスクトップマネージャの 操作方法

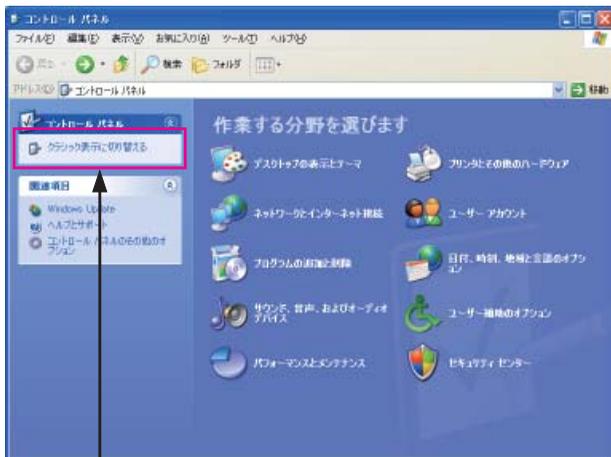


Windows Vista/7 では Quadro FX シリーズのみで利用可能です。
ただし、一部機能が制限されます。

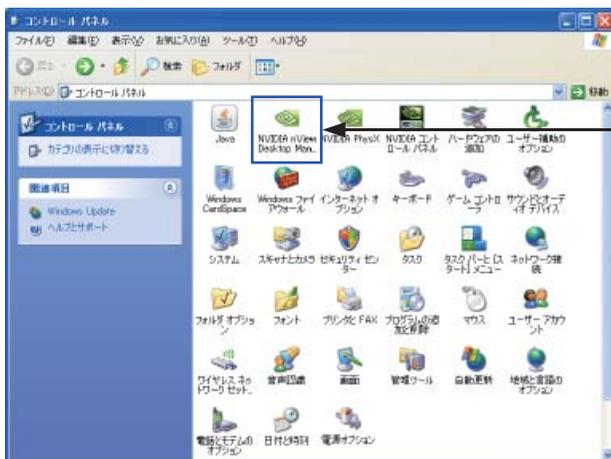
6.1 nView メニューの起動と設定

ユーザーは、デスクトップを視覚的に見やすく整理することはできますが、同時に複数のウィンドウを開くと作業スペースが乱雑になることがあります。このような問題を解決してくれるのが nView Desktop Manager です。

● 起動方法



1. コントロールパネルの表示を「クラシック表示に切り替える」を押しクラシック表示にします。



2. 「NVIDIA nView Desktop Manager」のアイコンをダブルクリックし、NVIDIA nView Desktop Manager を起動します。

●初期設定方法

**nView Desktop Manager**

nView Desktop Manager を有効にするとデスクトップのウィンドウ表示など様々な機能が利用可能です。
各項目の説明は次項をご覧ください。

nView Desktop Manager ウィザード

nView Desktop Manager ウィザードを実行すると、ウィザード形式でのデスクトップ機能設定が行えます。

nView Desktop Manager ウィザード

nView Desktop Manager ウィザードを実行すると、ウィザード形式でのデスクトップ機能設定が行えます。

6.2 プロフィール

nView のデスクトップ設定を保存して、再利用したりすることができます。



プロフィールの作成、保存、または削除ができるのは管理者のみです。

「新規プロフィールを読み込む前に、変更を保存するか尋ねる」オプションを有効にすると、「プロフィールの読み込みによって設定が失われる場合がある」と、警告が表示されます。



プロフィールをクリックします。

プロフィールの読み込み、保存、新規作成、削除ができます。

新規 (N) : プロフィールを新規に作成します。

読み込み (L) : 保存されているプロフィールを読み込みます。

保存 (S) : 現在の状態をプロフィールとして保存します。

削除 (D) : プロフィールにある項目を削除します。

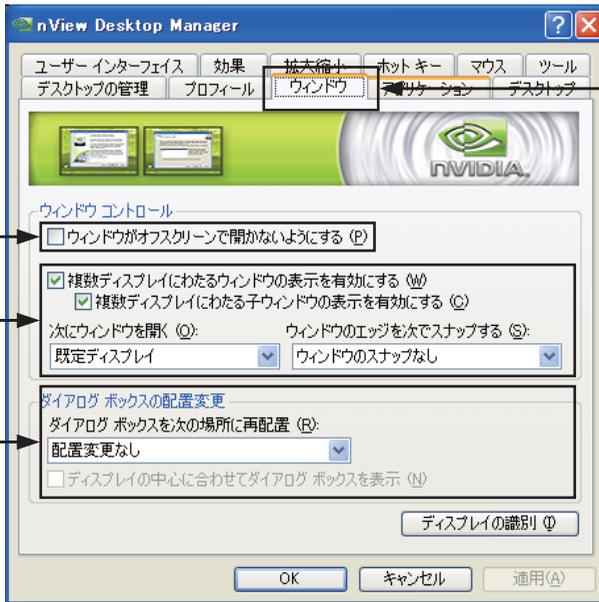
インポートする (I) : 他の機種で作成したプロフィールをインポート (取り込み) します。

エクスポート (E) : 他の機種で使えるようにプロフィールをエクスポートします。

このプロフィールを保存しておくで、グラフィックスボードを変更した際にも同様な設定が利用可能です。

6.3 ウィンドウコントロール

ウィンドウの表示方式や画面領域外でウィンドウを開く事を禁止したり、複数画面でのウィンドウ表示、ウィンドウを開く場所などを設定可能です。



ウィンドウをクリックします。

ウィンドウがオフスクリーンで開かないようにする

ウィンドウを開いた際に、画面の表示領域以外でウィンドウが開かなくなります。例えば、ウィンドウを画面の別の場所に動かしたり、解像度が変更されて画面外にウィンドウが消えてしまった場合に便利です。

複数ディスプレイにわたる子ウィンドウの表示を有効にする

アプリケーション内子ウィンドウを複数モニタにまたがっての表示を許可します。

ダイアログ ボックス の配置変更

ダイアログボックスの表示がどちらの画面で表示されるかを設定します。

「配置変更なし」：メイン表示画面にダイアログボックスが表示されます。

「アプリケーションディスプレイに移動する」：アプリケーションが起動している画面に表示します。

「カーソルディスプレイに移動する」：カーソルが表示されている画面に表示されます。

「ディスプレイ（番号）に移動する」：指定されたディスプレイ番号のモニタに表示されます。

6.4 アプリケーションタブ

nView の設定を各アプリケーションごとに細かく設定することができます。

アプリケーションをクリックします。

カスタムの nView Desktop Manager 設定を使用するアプリケーション
追加したアプリケーションまたはウィンドウクラスがリスト化されます。

追加：個別に追加するウィンドウクラスを追加します。
削除：追加したアプリケーションまたはウィンドウクラスをリストから削除します。
個別設定：追加したアプリケーションの nView 設定を変更します。
無効：アプリケーション用の動作を無効にします。

すべての個別設定とウィンドウメモリをグローバルに無効にする
こちらをクリックするとすべてのウィンドウの個別アプリケーション設定のオン / オフを切り替えることができます。

拡張機能
nView アプリケーション専用拡張機能を変更できます。追加したアプリケーション、またはウィンドウクラスがリスト化されます。

6.5 デスクトップタブ

最大 32 個の仮想デスクトップを作成することができます。各デスクトップは、通常のデスクトップと同じように、壁紙の設定やアプリケーションの起動などを行うことができます。デスクトップの切り替えは、エクスプローラ上やホットキー、メニューリストからアクセスできます。

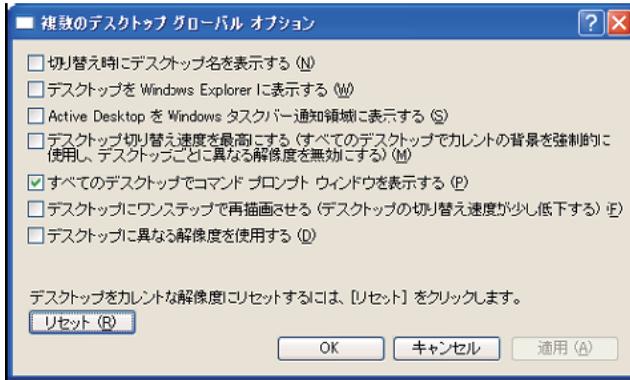
デスクトップをクリックします。

使用可能なデスクトップ
追加したデスクトップがリスト化されます。
追加： デスクトップを追加します。
削除： 選択しているデスクトップを削除します。
プロパティ： 選択しているデスクトップのプロパティを変更します。

複数のデスクトップ
「複数のデスクトップを有効にする」にチェックを入れてください。
「オプション」をクリックしていただくと詳細な設定ができます。
オプションの説明は次項に説明いたします。

●複数デスクトップのグローバルオプション

デスクトップ項目の詳細が設定可能です。



切り替え時にデスクトップ名を表示する

デスクトップを切り替えた際に画面にデスクトップ名を表示します。

デスクトップを **Windows Explorer** に表示する

Windows Explorer に表示可能なデスクトップをエクスプローラーツリーに表示します。

Active Desktop を **Windows** タスクバー通知領域に表示する

画面右下のタスクバーにデスクトップ切り替えのアイコンを表示して、簡単に切り替えることが可能になります。

デスクトップの切り替え速度を最高にする（すべてのデスクトップでカレントの背景を強制的に使用し、デスクトップごとに異なる解像度を無効にする）

すべてのデスクトップにて標準の壁紙に固定してデスクトップの切り替えを高速にします。

すべてのデスクトップでコマンドプロンプトウインドウを表示する

すべてのデスクトップにてコマンドプロンプトウインドウを表示します。チェックを外すとメイン画面のみコマンドプロンプトが表示されます。

デスクトップにワンステップで再描画させる（デスクトップの切り替え速度が少し低下する）

すべてのウインドウが表示されるまでデスクトップの切り替えが出来なくなります。

こちらを有効にするとデスクトップの描画が若干低下します。

デスクトップに異なる解像度を使用する

各デスクトップごとに個別の解像度を設定する事が可能です。自由に解像度を設定できますが描画が遅くなります。

6.6 ユーザーインターフェイス

nView ユーザーインターフェイスの拡張オプションをコントロールすることができます。



ユーザーインターフェイスをクリックします。

Windows デスクトップの右クリックメニューで **[nView]** オプションを有効にする
右クリックのメニューから nView Desktop Manager へアクセスすることができます。デフォルトは有効になっています。

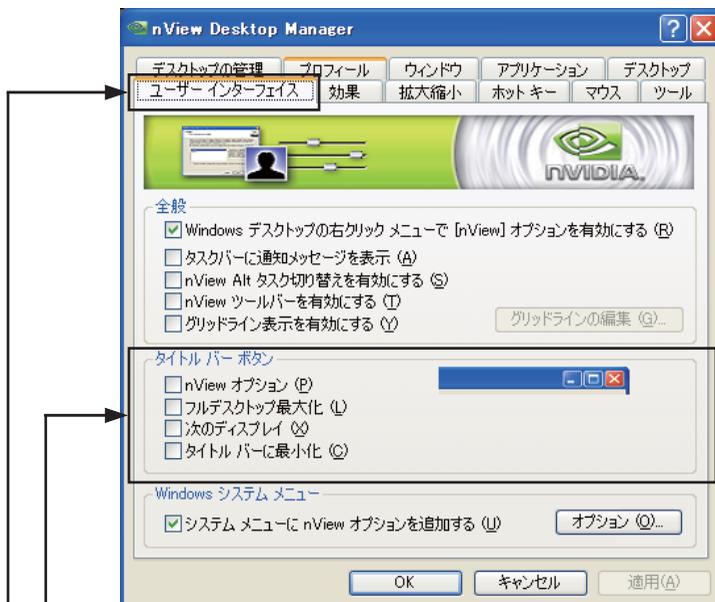
タスクバーに通知メッセージを表示
nView が機能を無効にする必要がある場合に、タスクバーにバルーンメッセージを表示します。デフォルトは無効になっています。

nView Alt タスク切り替えを有効にする
Alt タスクの切り替えの有効、無効を設定します。デフォルトは無効になっています。

nView ツールバー を有効にする
nView 用のツールバーが表示されます。

グリッドライン表示 を有効にする
グリッドを表示させ、ウィンドウやダイアログを揃えることができます。

nView ユーザーインターフェースの拡張オプションをコントロールすることができます。



ユーザーインターフェイスをクリックします。

nView オプション

ウィンドウのタイトルバーにウィンドウをアイコン化するためのボタンを表示を表
示します。デフォルトは無効になっています。

フルデスクトップ最大化

タイトルバーに最大化ボタンを追加します。デフォルトは無効になっています。

次のディスプレイ

タイトルバーにとりよりのディスプレイへ移動するためのボタンを追加します。

タイトルバーへの最小化

タイトルバーに最小ボタンを追加します。デフォルトは無効になっています。

● Windows システムメニューについて

システムメニューに nView オプションを追加する

Windows システムメニューを使用するには「システムメニューに nView オプションを追加する」にチェックを入れてください。「オプション」をクリックしていただくと詳細の設定ができます。

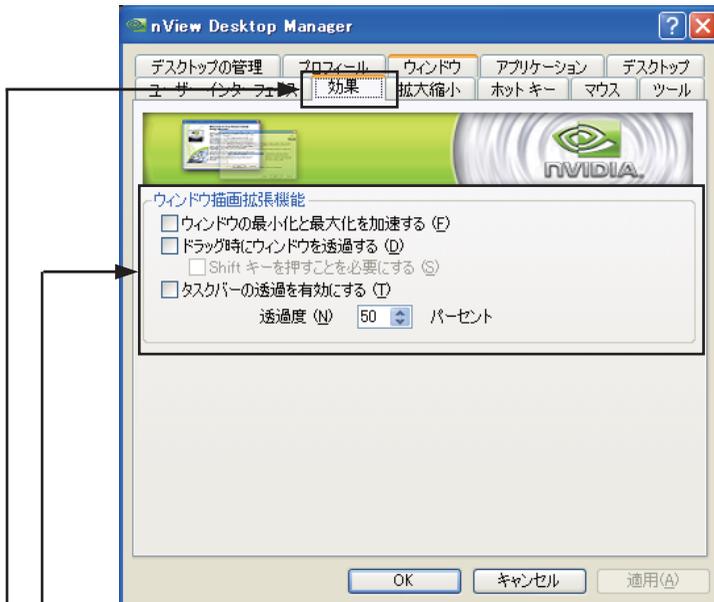
Windows システムメニューにアクセスするには、タイトルバーを右クリックして nView オプションから目的の項目を選んでください。

下記のメニューから表示する nView オプションを設定できます。



6.7 効果設定

ウィンドウの操作を拡張することができます。



効果をクリックします。

ウィンドウの最小化、最大化を加速する

ウィンドウの最大化、復元操作が高速になります。デフォルトは無効になっています。



使用するアプリケーションによっては、重くなる可能性もありますのでご注意ください。

ドラッグ時にウィンドウを透過する

ウィンドウをドラッグした際に、ドラッグしたウィンドウを半透明にして下のウィンドウを見るようにします。

複数のウィンドウを起動中に効果的です。デフォルトは無効になっています。

タスクバーの透過を有効にする

ウィンドウズのタスクバーを透過します。透過率はパーセントで変更できます。デフォルトは無効になっています。

6.8 拡大縮小設定

Windows の虫眼鏡ツールと同様に独立ウィンドウを立ち上げて、部分を拡大することができます。



拡大縮小をクリックします。

ズームウィンドウのスタイル
拡大縮小スタイルを変更します。

以下のキーを押した状態でマウスのホイールを使用し、拡大縮小レベルを変更するマウスのスクロールボタンと shift もしくは Ctrl で拡大縮小が可能になります。

ズームウィンドウでカーソルを表示
「カーソルに中心を合わせる」もしくは「固定フレーム」が選択されている場合のみ、拡大縮小ウィンドウでカーソルを表示の有効、無効が可能です。

拡大縮小ウィンドウを自動的に次の画面に移動する
カーソルに中心を合わせるが有効の場合のみ使用可能になります。

双方向編集を有効にする
拡大、固定フレームが選択されている場合のみ、拡大縮小ウィンドウ内の編集の有効、無効が可能です。

拡大縮小イメージのカラーを反転する
カラーの反転をします。

ビデオ再生の拡大縮小を有効する (オーバーレイを無効にする)
ビデオの拡大縮小を可能にします。拡大縮小ウィンドウを立ち上げます。

ズームウィンドウの表示
拡大縮小ウィンドウを画面上に表示します。

QuickZoom ホットキー
拡大縮小ウィンドウを表示するホットキーを割り当てて、簡単にズームウィンドウを表示できるようになります。

6.9 ホットキー設定

nView の操作をすべてキーボードのキーに割り当てるができます。設定したホットキーは、すべてリストに追加され、いつでも変更する事が出来ます。

ホットキーをクリックします。

操作を選択する
各メニュー項目の操作に対し、追加の項目にてホットキーを割り当てる事が出来ます。

アクティブなホットキー
追加されたホットキーの一覧を確認する事が出来ます。

6.10 マウス設定

マウスの動作を拡張することができます。



マウスをクリックします。

カーソルを置いたウィンドウを自動的にアクティブにする
カーソルが表示されているウィンドウをアクティブにしてウィンドウの手前に表示します。

マウスのジェスチャーを有効にする
有効にすると、マウスの動作でさまざまな設定が可能になります。また、拡張オプションのカスタマイズが有効になります。

スロー (**throw**) ウィンドウの操作を有効にする
ウィンドウを画面の端に自動的に投げるような操作で、移動する事が出来ます。

デッドスクリーン領域をジャンプ
長方形以外の設定でモニターからモニターへ急速に移動する場合、カーソルがデッドスクリーンエリアにジャンプします。

マウスの中央ボタンでウィンドウの Z オルダを切り替える
選択すると、マウスの中央ボタンでウィンドウを Z 順に変更が可能です。

6.11 ツール設定

画面調整などを行う NVKeystone のメニューを使用する事が可能です。

ツールをクリックします。

NVKeystone ディスプレイの補正を有効にする
 プロジェクタを使用する際に発生する台形の歪みを補正するキーストン効果を有効にするユーティリティを、使用可能にします。デフォルトは有効になっています。

デスクトップの右クリックメニューで [NVKeystone] オプションを有効にする [NVKeystone] へのアクセスが簡単になります。デフォルトは有効になっています。

調整画面
 モニタのテストパターンを表示します。これによりディスプレイを最適な状態にすることができます。

ディスプレイを自動的に位置を合わせる
 マルチモニタ使用中、複数のモニタを自動的に位置合わせし、小さなピクセルギャップを除去することができます。
 デフォルトは有効になっています。

第七章

Quadro NVS マルチモニタ設定方法

NVIDIA Quadro NVS シリーズで 3 画面以上のモニタをご利用の場合にご覧ください。



ドライバのバージョンによって設定方法が変わる場合がございます。

Windows Vista/7 ではこちらの機能は利用できません。

7.1 NVIDIA Quadro NVS シリーズマルチ出力設定

NVIDIA Quadro NVS シリーズは 2 画面以上のマルチモニタをサポートしています。

通常モードでは、2 画面表示のみで利用可能ですが、他の画面をアクティブに変更することで複数画面による表示が可能です。

画面のプロパティ

テーマ デスクトップ スクリーンセーバー デリク **設定**

モニタ アイコンをドラッグしてモニタの実際の配置と合わせてください。

1 2 3 4

ディスプレイ(D):
1. NVIDIA Quadro NVS 285 上の プラグ アンド プレイ モニタ

画面の解像度(S) 小 大
1280 x 1024 ピクセル

画面の色(C) 最高 (32 ビット)

Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする(E)

識別(F) トラブルシューティング(T)... 詳細設定(W)

OK キャンセル 適用(A)

1. 画面のプロパティを表示します。
2. 設定タブをクリックします。
3. アクティブにする画面をクリックします。
4. Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」にチェックを入れます。

7.2 Multiview モードの設定

NVIDIA Quadro NVS シリーズは 2 画面以上のマルチモニタをサポートしています。

通常のモードでは、2 画面ずつの個別調整モードで利用可能ですが、Multiview モードを利用すると、複数画面によるバーチャルデスクトップ（多画面を 1 つの画面として利用できるモード）等が利用できます。



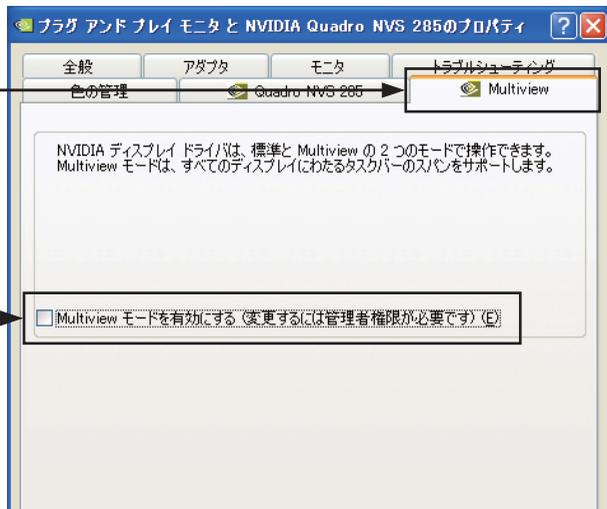
Multiview は 3 画面以上でご利用の場合にのみ設定してください。

画面のプロパティを表示して『設定』タブを選択します。



詳細設定を開きます。

Multiview を開きます。



「Multiview モードを有効にする」にチェックを入れ再起動する事により、Multiview の機能が利用可能になります。

7.3 Multiview モードの設定（画面配置）

Multiview の画面が起動すると右側の画面が表示されます。

初期設定では画面の表示が1画面になっていますので、使用する画面をマウスクリックで選択。

「このディスプレイを有効にする」にチェックを入れてください。

ディスプレイの解像度とカラークオリティは全てのモニタで共通となります。

識別ボタンを押すと現在のモニタがどちらの画面を利用しているかが表示されます。

画面の配置例

モニタはマウスでドラッグして自由に配置する事が可能です。

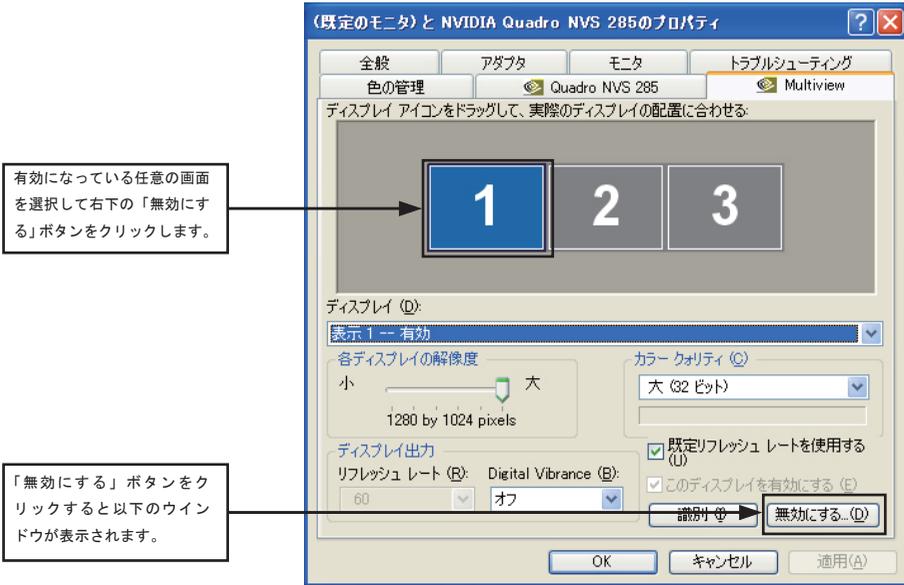
右側画面は一例として縦に画面をつなげた状態の設定例です。

任意のモニタを使用しない場合はチェックをはずす

● Multiview モードを無効にする方法

Multiview モードを利用した場合、nView の水平スパンや Dualview 機能がご利用いただけません。

従来の nView 機能を使用したい場合、以下の方法にて Multiview を無効にしてください。



第八章

トラブルシューティング

よくあるお問い合わせの事例を記載しております。

Q1. ボードを取り付けたが、画面がまったく表示されない。

A1. ディスプレイモニタのケーブルは、今回購入された、又は増設等をしたボードに取り付けてありますか？

ボードの取り付けはスロットに対して水平にささっていますか？

一部、メーカー製パソコンでは、既設で動作しているグラフィックス機能などとの競合により、正常に表示が行われない場合がございます。

パソコンメーカーに以下の点をご確認ください。

内蔵の VGA 機能を無効にするか、取り付けたボードを優先的に動作させる BIOS 設定をご確認ください（取り付けるバスも一緒にお伝えください、AGP、PCI、PCI-Express など）。

通常は、増設したボードが優先的に動作を致しますが、一部のメーカー製パソコンなどによっては、内蔵のグラフィックス機能が優先的に動作してしまい、取り付けたボードが正常に動作しない場合がございます、その際にはパソコンメーカーに内蔵グラフィックス機能を無効にする、もしくは増設したボードを（PCI-Express、AGP、PCI 等を）優先的に動作する BIOS 設定等をご確認ください。

（例）Windows 上で内蔵グラフィックスを無効に変更する方法

スタート⇒設定⇒コントロールパネル⇒パフォーマンスとメンテナンス⇒システムを開きます。

ハードウェアタブからデバイスマネージャーをクリックします。

ディスプレイアダプタに Intel 8xxxx Extreme Display Adapter 等の内蔵グラフィックアダプタを右クリックして「無効 (D)」を選択するか、ダブルクリックしてプロパティを開き、この「ハードウェアを使用しない」に設定を変更してください。

両方も画面が出なくなった場合、セーフモードにて内蔵グラフィックス機能を有効に戻してください。

セーフモードは、PC 電源投入後に Windows のロゴが出る前に F8 キーを続けて押すと起動選択の画面が出ますので、そちらにて選択可能です。

Q2. ドライバをインストールする際に **NVIDIA** セットアッププログラムは互換性のある製品を検出できませんでした。セットアップを終了しますと表示される

A2. 取り付けられたグラフィックスボードが検出されていません。もう一度ボードをさし直してご確認ください。

Q3. 旧製品の場合、**Windows** 起動後に **NVIDIA** セントラル：電源不足の警告が表示される

A3. ボードに補助電源コネクタを備えている場合には、必ず補助電源コネクタをさし込んでください。

さし込んでも変化が無い場合、別のコネクタがあるようでしたら、別コネクタに差し込んでお試しください。

補助電源が無い機種、もしくは補助電源を差し込んだ状態でも表示される場合には以下の原因が考えられます。

1. 電源ユニットから出力される電源が不足している（電源容量不足や長期使用した電源など）。



電源ユニットの交換が必要になる場合があります。

2. マザーボードから供給される電力が不足している（長期使用した製品など）。



マザーボードに取り付けられている他の PCI ボードや CPUFAN 以外の FAN 等を取り外すことで動作することがあります。

3. 外気温が 10° C 以下の環境で使用して、最初の起動時にのみ表示される（再起動後は出ない）。

※環境温度の問題です。PC の電源や部品は冷やされると出力が低下してしまい、電力供給が不安定なまま、動作する場合があります。これは時間が経過して PC が暖まると改善します。

4. CPU やメモリ及びグラフィックスボードをオーバークロックしている。

※マザーボードから供給できる通常の使用電力がオーバークロックにより極端に上がりますので拡張スロットに対して正常に電力が供給出来ない場合があります。規定のクロックに戻してお使いください。

5. 上記の問題は全てクリアしているが、電源不足の警告が消えない。

※サポートセンターにお問い合わせください。

Q4. 画面を 2 画面に接続しているが両方に表示されません。

A4. ユーザーズマニュアル内の「画面モードの説明」、「ディスプレイ設定の変更」を参照に、画面の表示方法の設定をおこなってください。

Q5. Windows 起動時に、セキュリティ警告 `nvsr32.exe` が表示される

A5. こちらは、NVIDIA の画面調整ソフトウェアです。WHQL (Windows Hardware Quality Labs.) 未対応のドライバをインストールした場合に必ず表示されます。WHQL 署名済みドライバを <http://www.nvidia.co.jp> のサイトからダウンロードしてインストールするか、弊社より WHQL 対応版をインストールすることにより、表示されなくなります。

Q6. ドライバがアップデートされていますが、アップデートする必要はありますか？

A6. 現在使用されている上で、特に不具合が生じていない場合には、無理にドライバをアップデートする必要はございません。

使用している際に不具合が発生したり、ゲームなどで不具合が起きて、アップデートを推奨された場合には、ドライバのアップデートを行ってください。

Q7. ドライバをアップデートしたらゲームの表示がおかしくなった。

ドライバを戻すと問題ないゲームソフトをアップデートしたら画面表示がおかしくなりました。

A7. ドライバでの処理方法の不具合や、ゲームソフトでの不具合なども考えられます。以前のドライバにて問題なければそらをご利用ください。

エルザサポートセンターについて

株式会社エルザジャパン

安心の国内サポートエルザサポートセンター

〒105-0014 東京都港区芝3丁目42番10号 三田 UT ビル

サポートセンター TEL:03-5765-7615 FAX:03-5765-7235

MAIL: sup-jp@elsa-jp-co.jp Web <http://www.elsa-jp.co.jp>

(営業時間 10:00-18:00、土日祝祭日、当社指定休日は除く)

●弊社ホームページにて、製品情報及び詳細、FAQ、動作確認情報等を掲載しております。
お問い合わせの前にご確認ください

●製品の初期不良及び故障と思われる場合には、ご購入頂きました販売店様もしくは弊社サポートセンターにご連絡ください

●修理品の送付について

下記 URL の送付手順で送付していただけますようお願いいたします。

<http://www.elsa-jp.co.jp/support/repair/index.html>

This product supports only Japanese language